

令和8年度 現代の国語 I 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
105		1年 1名	
年間目標	(知及技) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (思判表力) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (学・人) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	36	まだ知らない自分に出会う	
		届く言葉	
		評論の読み方	
		分かりやすい説明をする	
		不思議な拍手	
		水の東西	
		文化の東西	
		発想を広げて課題を見つける	
		新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる	
2学期	40	まちの豊かさとは何か	
		時間と自由の関係について	
		コミュニティのこれから	
		本を紹介する	
		調べた情報を説明資料にまとめる	
		真の自立とは	
		自立と市場	
3学期	29	共鳴し引き出される力	
		文章を読み比べるために	
		異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く	
		情報を整理しながら話し合う	
		人工知能はなぜ椅子に座れないのか	
		白	
		人間の境界	
		少女たちの「ひろしま」	

令和8年度 言語文化 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		2年 1名	
年間目標	(知及技) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることができるようにする。 (思判表力) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (学・人) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	24	(現代文・随筆) さくらさくらさくら	
		(現代文・随筆) 美しいということ	
		(古文入門) 古文に親しむ	
		(古文入門) 児のそら寝『宇治拾遺物語』	
		(古文入門) 絵仏師良秀『宇治拾遺物語』	
		(漢文入門) 訓読の基本	
		(漢文入門) 故事成語－三編	
		(現代文・小説) とんかつ	
2学期	28	(古文・随筆) 徒然草	
		(古文・随筆) 枕草子	
		(現代文・詩歌) 柳あをめる	
		(現代文・詩歌) 雪のふかさを	
		(古文・詩歌) 折々のうた	
		(漢文・漢詩) 背句と律詩－七首	
		(現代文・小説) 羅生門	
		(古文・物語) 伊勢物語	
		(古文・物語) 平家物語	
		(漢文・論語) 論語－八章	
3学期	18	(現代文・小説) 夢十夜	
		(現代文・小説) デューク	
		(古文・紀行) 奥の細道	
		(漢文・史話) 史話－三編	

令和8年度 国語表現 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
140		3年 2名	
年間目標	(知及技) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (思判表力) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (学・人) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
学期	時数	題材名	
I 学期	48	言葉と表記	
		整った文を書く	
		相手に応じた言葉遣い	
		わかりやすい文を書く	
		文のつなぎ方	
		実践トレーニング①	
		言葉のストレッチ体操	
		【表扉】「それでいいです」	
		【表扉】意図理解の難しさ	
		絵や写真を見て書く	
		マイニュース記事を書こう	
		【読書】宝探してみたいに	
		【読書】想像力の世界	
		小論文とは何か	
		反論を想定して書く	
		文章を読み取って書く	
		【表扉】「再生」は日常生活から	
		【表扉】時代の気分、言葉の温度	
		【表扉】藤井新棋聖	
		統計資料を読み取って書く	
		【表扉】データを読む③	
		【表扉】データを読む④	
		発想を広げて書く	

令和8年度 国語表現 I 課程A 年間指導計画

		レポートを書く
		論文を書くために
2 学 期	60	自分を見つめて
		効果的な自己 PR
		将来の自分を考えよう
		志望理由を書こう
		自己推薦書や学修計画書を書く
		面接にチャレンジ
		グループディスカッションをしよう
		実践トレーニング②
		通信文を書き分ける
		電話を使いこなす
		電子メールを活用しよう
		ネット社会との付き合い方
		ネットを活用した情報収集
		メディアと情報
		【表扉】メディアって何？
		【表扉】すべては編集されている
		相手や場面に応じた会話
		建設的な議論の進め方
		スピーチをしよう
		プレゼンテーションの工夫
		【読書】ビブリオバトルをしよう
		【読書】リーダーズシアターを聞こう
		【表扉】話すときのツボ
		【表扉】全体の構造を意識して説明する
		【表扉】間の大切さ
		言葉で遊ぶ
3 学 期	32	無人島で生き残れ
		日常生活の正しい過ごし方
		魅力的なポスターを作ろう
		「わが町自慢」のパンフレット作り

令和8年度 国語表現 I 課程A 年間指導計画

		働く人にインタビュー
		たほいやゲームをしよう
		みんなで作ろう国語辞典
		「私の虫類図鑑」を作ろう
		エッセイを書こう
		演説合戦にチャレンジ
		こちら悩みごと相談室
		開廷!模擬裁判

令和8年度 《実用国語》 年間指導計画

高等部普通科 2年 I 課程B 2単位

指導担当者：

指導目標	・伝え合う力を高めるとともに、進んで表現することによって、社会生活を充実させる態度を養う。 ・授業・日常生活において必要な情報を自立的に記録・整理・活用できる力を育成する。 ・社会自立に向けて必要な漢字力や語彙力を高めることができる。 ・点字の基礎を学び、名前、数字を書くことができるようにする。
------	---

月	時数	単元名（教材名）	学習目標・内容	評価の観点
4 月	3	詩を味わう	・詩の中のことばや表現の特徴を理解する。 ・詩の中のことばの意味を的確に捉え、表現に着目しながら読む。	・詩の中のことばの意味を的確に捉えられたか。
	5	物語を楽しむ	・生きることに対する思いへの理解を深める。 ・人物の心理と行動との関係について捉える。	・物語の展開と情景描写との関係を捉えられたか。
	5	随筆を読む	・本や文章から情報を集めるための方法を身につける。 ・事象や行為などを表す多様な語句について理解する。	・事象や行為などを表す語句について理解できたか。
7 月	20	情報の記録と活用（コンピュータの活用）	・ローマ字の仕組みや表記の規則を理解し、コンピュータによる日本語入力に生かす。 ・音声読み上げ等の支援機能を活用し、言語情報を正確に捉える。 ・授業や日常生活における情報の中から必要な内容を捉え、ことばを選んで記録する。 ・語句や文のまとまり、見出しや箇条書きなどの表現の工夫に着目し、分かりやすく整理する。 ・記録した内容を基に、自分の考えをまとめ、説明や振り返りに生かす。	・ICT支援を活用して、必要な情報を的確に捉え、分かりやすく記録できたか。 ・記録した内容を整理・工夫し、自分の考えをまとめて活用できたか。 ・自分に合った方法で主体的に学習に取り組むことができたか。
	20	漢字・語句	・四字熟語や故事成語等の意味を知る。 ・対義語や類義語について学び、意味を理解することができる。 ・語句の意味を理解し、パソコン等で正確に変換できるようにする。	・四字熟語、故事成語対義語、類義語等の意味や使い方を理解できたか。
	17	点字	・点字の読み書きの力を高める。 ・基本的な点字を学び、自分の名前、数字が書けるようにする。 ・点字記録会に参加する。	・記録会での記録を伸ばすことができたか。

令和8年度 歴史総合 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		2年 1名			
年間目標	(知及技) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本の相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する。				
	(思判表力) 近現代の歴史の意義や特色などを現在のつながりなどに着目して考察したり、課題解決を視野に構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。				
	(学・人) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面・多角的な考察や深い理解を通して、日本国民としての自覚や我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
学期	時数	章	題材名		
1	24	歴史の扉	歴史と私たち 日本と洋菓子		
			歴史の特質と資料 台湾における砂糖の生産		
		近代化への問い	交通と貿易・産業と人口・権利意識と政治参加や国民の義務・学校教育・労働と家族・移民		
		第1章 結びつく世界	アジア諸地域の繁栄と日本		
			ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出		
		第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	ヨーロッパ経済の動向と産業革命		
			アメリカ独立革命とフランス革命		
			19世紀前半のヨーロッパ		
			19世紀後半のヨーロッパ		
			19世紀のアメリカ大陸		
			西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化		
			中国の開発と日本の開国		
		第3章 明治維新と日本の立憲体制	明治維新と諸改革		
			明治初期の対外関係		
			自由民権運動と立憲体制		
		第4章 帝国主義の展開とアジア	条約改正と日清戦争		
			日本の産業革命と教育の普及		
			帝国主義と列強の展開		
			世界分割と列強の対立		
			日露戦争とその影響		
		2	28	近代化と現代的な諸課題	自由・制限/開発・保全
国際秩序の変化や大衆化への問い	国際関係の緊密化/アメリカが衆国とソ連の台頭/植民地の独立/大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化/生活様式の変化				
第5章 第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦とロシア革命				
	国際平和と安全保障				
	アジア・アフリカ地域の民族運動				
	大衆消費社会と市民生活の変容				
	社会・労働運動の進展と大衆の政治参加				
第6章 経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌の発生と各国の反応				
	ファシズムの台頭				

3	18		日本の恐慌と満州事変
			日中戦争と国内外の動き
			第二次世界大戦と太平洋戦争
		第 7 章 戦後の国際秩序と日本の改革	新たな国際秩序と冷戦の始まり
			アジア諸地域の独立
			占領下の日本と民主化
			占領政策の転換と日本の独立
		国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	対立・協調/平等・格差/統合・分化
		グローバル化への問い	冷戦と国際関係/人と資本の移動/高度情報通信/食料と人口/資源・エネルギーと地球環境/感染症/多様な人々の共存
		第 8 章 冷戦と世界経済	集団防衛体制と核開発
			米ソ両大国と平和共存
			西ヨーロッパの経済復興
			第三世界の連携と試練
5 5 年体制の成立			
日本の高度経済成長			
核戦争の恐怖から軍縮へ			
冷戦構造のゆらぎ			
世界経済の転換			
アジア諸地域の経済発展と市場開放			
第 9 章 グローバル化する世界	冷戦の終結と国際情勢		
	ソ連の崩壊と経済のグローバル化		
	開発途上国の民主化と独裁政権の動揺		
	地域紛争の激化		
	国際社会のなかの日本		
第 1 0 章 現代の課題	現代世界の諸課題		
	現代日本の諸課題		
現代的な課題の形成と展望	人口減少社会の到来/原子力発電と自然災害		
年間総時数			7 0 時間

令和 8 年度 地理総合 I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者	
7 0		3 年 2 名				
年間目標	(知及技) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。					
	(思判表力) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。					
	(学・人) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さを自覚することができる。					
学期	時数	部	章	題材名		
1	24	第1編	第1章 私たちが暮らす世界	1 緯度・経度		
				2 地球儀と世界地図		
				3 日本の位置と領域		
			第2章 地図や地理情報システムの役割	4 地図の種類		
				5 地形図のルール		
				6 主題図の種類と読み取り		
				7 地理情報システムと地図		
			第3章 資料から読み取る現代世界	8 交通の発達		
				9 情報通信の発達		
				10 国境をこえる人々の移動		
				11 拡大する貿易		
				12 つながる世界、多極化する世界		
2	28	第2編	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	13 文化の地域性と多様性		
				14 宗教と人々の暮らし		
				15 山地の暮らし		
				16 平野の暮らし		
				17 海岸の暮らし		
				18 多様な気候とその分布		
				19 熱帯の人々の暮らし		
				20 乾燥帯の人々の暮らし		
				21 温帯の人々の暮らし		
				22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし		
				23 食生活と農業の分布		
				24 工場立地の変化		
25 商業立地と人々の生活						
26 情報産業の発達と生活文化の変化						
27 地球環境問題（1）						

				28 地球環境問題（２）
2	28	第 2 編	第 2 章 さまざまな地球的課題と 国際協力	29 資源・エネルギーの偏在
				30 化石燃料から再生可能エネルギーへ
				31 発展途上国の人口問題
				32 先進国の人口問題
				33 食糧需給をめぐる問題
				34 発展途上国の居住・都市問題
				35 先進国の居住・都市問題
				36 民族問題・難民問題
				37 地球的課題と国際協力
3	18	第 3 編	第 1 章 自然環境と防災	38 日本の地形の特色
				39 日本の気候の特色
				40 地震災害・津波災害（１）
				41 地震災害・津波災害（２）
				42 火山の災害とめぐみ
				43 気象災害（１）寒さ・暑さと台風
				44 気象災害（２）大雨と洪水・土砂災害
				45 都市と自然災害
				46 防災・減災と復旧・復興
			第 2 章 生活圏の調査と地域の展 望	47 調査テーマの設定
				48 地域調査 1（資料調査）
				49 地域調査 2（野外調査）
				50 まとめと発表
年間総時数 70 時間				

令和8年度 公共 I 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒	担当者
70		1年 1名	
年間目標		(知及技) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解し、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (思判表力) 公共的な空間における基本的原理を活用して、合意形成や社会参画について議論する力を養う。 (学・人) 国民主権を担う公民として、協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
学期	時数	単元名	
年間を通して		新聞を読んで時事に関心を持とう (NIE)	
1 学期	22	第1部 私たちがつくる社会	第1章 社会の中の私たち 第1節 青年期と社会参画 第2節 宗教・思想・伝統文化と社会
			第2章 思想から学ぶべきものの平和について考えよう 第1節 倫理的な見方・考え方
			第3章 私たちの社会の基本原理 第1節 社会の基本原理と憲法の考え方
2 学期	32	第2部 社会のしくみと諸課題	第1章 私たちと法 第1節 法の意義の司法参加
			第2章 私たちと政治 第1節 民主社会と政治参加 第2節 国際政治の動向と平和の追求
			第3章 私たちと経済 第1節 市場経済のしくみ 第2節 豊かな社会の実現 第3節 国際経済の動向と格差是正
3 学期	16		第3章 私たちと経済 第1節 市場経済のしくみ 第2節 豊かな社会の実現 第3節 国際経済の動向と格差是正
		第3部 持続可能な社会の実現に向けて	課題探求学習 ・日本の発電エネルギーについて ・パリ協定目標達成のために国際社会に必要なことについて

令和8年度 数学Ⅰ I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
140		1年 1名		
年間目標	(知及技) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
	(思判表力) 数や式を多面的にみて目的に応じて適切な手法を選択して変形や分析を行い、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けたり、図形の性質や計量について論理的な視点で問題を解決したりして、解決の過程や結果を批判的に考察、判断する力を養う。			
	(学・人) 数学のよさを認識して活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。			
学期	時数	章	題材名	
1学期	48	第1章 数と式	1. 多項式の加法と減法	
			2. 多項式の乗法	
			3. 因数分解	
			4. 実数	
			5. 根号を含む式の計算	
			6. 不等式の性質	
			7. 1次不等式	
			8. 絶対値を含む方程式・不等式	
		第2章 集合と命題	1. 集合	
			2. 命題と条件	
			3. 命題とその逆・対偶・裏	
			4. 命題と証明	
2学期	56	第3章 2次関数	1. 関数とグラフ	
			2. 2次関数のグラフ	
			3. 2次関数の最大・最小	
			4. 2次関数の決定	
			5. 2次方程式	
			6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係	
			7. 2次不等式	

3 学 期	36	第4章 図形と計量	1. 三角比
			2. 三角比の相互関係
			3. 三角比の拡張
			4. 正弦定理
			5. 余弦定理
			6. 正弦定理と余弦定理の応用
			7. 三角形の面積
			8. 空間図形への応用
		第5章 データの分析	1. データの整理
			2. データの代表値
			3. データの散らばりと四分位数
			4. 分散と標準偏差
			5. 2 つの変量の間の関係
			6. 仮説検定の考え方

令和8年度 数学基礎セミナー I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
70		2年 1名		
年間目標	(知及技) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
	(思判表力) 数や式を多面的にみて目的に応じて適切な手法を選択して変形や分析を行い、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けたり、図形の性質や計量について論理的な視点で問題を解決したりして、解決の過程や結果を批判的に考察、判断する力を養う。			
	(学・人) 数学のよさを認識して活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。			
学期	時数	章	題材名	
1学期	28	中学1年生の復習 第1章	A.数と式	
			B.図形	
			C.関数	
			D.データの活用	
		中学2年生の復習 第2章	A.数と式	
			B.図形	
			C.関数	
			D.データの活用	
		中学3年生の復習 第3章	A.数と式	
			B.図形	
			C.関数	
			D.データの活用	
2学期	28	数学Ⅰ 数と式 第4章	1. 多項式の加法と減法	
			2. 多項式の乗法	
			3. 因数分解	
			4. 実数	
			5. 根号を含む式の計算	
			6. 不等式の性質	
			7. 1次不等式	

			8. 絶対値を含む方程式・不等式
		数学Ⅰ 第5章 集合と命題	1. 集合
			2. 命題と条件
			3. 命題とその逆・対偶・裏
			4. 命題と証明
		数学Ⅰ 第6章 2次関数	1. 関数とグラフ
			2. 2次関数のグラフ
			3. 2次関数の最大・最小
			4. 2次関数の決定
			5. 2次方程式
			6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係
			7. 2次不等式
3 学 期	14	数学Ⅰ 第7章 図形と計量	1. 三角比
			2. 三角比の相互関係
			3. 三角比の拡張
			4. 正弦定理
			5. 余弦定理
			6. 正弦定理と余弦定理の応用
			7. 三角形の面積
			8. 空間図形への応用
		数学Ⅰ 第8章 データの分析	1. データの整理
			2. データの代表値
			3. データの散らばりと四分位数
			4. 分散と標準偏差
			5. 2つの変量の間の関係
			6. 仮説検定の考え方

令和8年度 数学Ⅱ I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
140		3年 2名		
年間目標	(知及技)いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
	(思判表力) 数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。			
	(学・人) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
学期	時数	章	題材名	
1 学期	56	第3章 点と直線	1. 直線上の点	
			2. 平面上の点	
			3. 直線の方程式	
			4. 2 直線の関係	
			5. 円の方程式	
			6. 円と直線	
			7. 2 つの円	
			8. 軌跡と方程式	
			9. 不等式の表す領域	
2 学期	56	第4章 三角関数	1. 角の拡張	
			2. 三角関数	
			3. 三角関数の性質	
			4. 三角関数のグラフ	
			5. 三角関数の応用	
			6. 加法定理	
			7. 加法定理の応用	
	56	と第5章 対数関数 指数関数	1. 指数の拡張	
			2. 指数関数	
			3. 対数とその性質	
			4. 対数関数	
			5. 常用対数	
3		6 第	1. 微分係数	

学 期	28		2. 導関数とその計算
			3. 接線の方程式
			4. 関数の増減と極大・極小
			5. 関数の増減・グラフの応用
			6. 不定積分
			7. 定積分
			8. 定積分と面積

令和8年度 化学基礎 I 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
70		1年 1名		
教科の目標	主体的に自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			
科目の目標	主体的に物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			
評価の観点	知識・技能【知】	思考力・判断力・表現力等【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】	
趣 旨	物質とその変化についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	

学期	月	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準（評価方法）	時数
				知	思	態		
第1学期	4 5 6	1章 物質の構成 1節 物質の探究	・物質の分離や精製などの実験を行い，実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付ける。 ・元素を確認する実験などを行い，単体，化合物について理解する。 ・粒子の熱運動と温度の関係，粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解する。	○			物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などについて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	18
					○		物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などの観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
	7 9 10	1章 物質の構成 2節 物質の構成粒子	・原子の構造及び陽子，中性子，電子の性質を理解する。 ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。	○			物質の構成粒子について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
					○		物質の構成についての観察，実験を行い，物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できる。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	物質の構成などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
第2学期	7 9 10	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 ・イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。	○			イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	18
					○		イオンやイオン結合の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	イオンやイオン結合などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
		2章 物質と化学結合 2節 共有結合	・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 ・分子からなる物質の性質を理解する。	○			共有結合を電子配置と関連付けて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。また，分子からなる物質の性質を理解している。（行動観察，提出課題，定期考査）	
					○		分子からなる物質の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	共有結合や分子かなる物質などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
		2章 物質と化学結合 3節 金属結合	・金属結合及び金属の性質を理解する。 ・身近な結晶の性質を調べる実験を行い，電子配置や化学結合の種類と関連付けて理解する。	○			金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに，金属の性質を理解している。（行動観察，提出課題，定期考査）	
					○		金属の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	金属に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
				○			科学的に探究する方法を理解するとともに，身近な物質の探究に必要な技能を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
					○		身近な物質の探究に関する事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考え方を的確に表現している。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	身近な物質の探究に関する事物・現象に主体的に関わり，それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
	11 12 1 2 3	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式	・物質と粒子数，質量，気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。	○			物質と化学反応式について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	34
					○		物質と化学反応式についての観察，実験を行い，物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。（行動観察，提出課題，定期考査）	

第3学期						○	物質と化学反応式に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)
		3章 物質の変化 2節 酸と塩基	・酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	○			酸・塩基と中和について理解するとともに，器具の扱い方や溶液の調製方法など滴定操作における基本的な技能を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
					○		酸・塩基と中和についての観察，実験を行い，中和反応に関与する物質の量的関係を科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
						○	酸・塩基と中和に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)
		3章 物質の変化 3節 酸化還元反応	・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。また，酸化還元反応と日常生活や社会との関わりについて理解する。	○			酸化と還元について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
					○		酸化と還元についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
						○	酸化と還元に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)

令和8年度 化学基礎 I 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
70		2年 1名		
教科の目標	主体的に自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			
科目の目標	主体的に物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			
評価の観点	知識・技能【知】	思考力・判断力・表現力等【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】	
趣 旨	物質とその変化についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	

学期	月	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準(評価方法)	時数
				知	思	態		
第1学期	4 5 6	1章 物質の構成 1節 物質の探究	・物質の分離や精製などの実験を行い，実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付ける。 ・元素を確認する実験などを行い，単体，化合物について理解する。 ・粒子の熱運動と温度の関係，粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解する。	○			物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などについて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	18
					○		物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などの観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	
						○	物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)	
	7 9 10	1章 物質の構成 2節 物質の構成粒子	・原子の構造及び陽子，中性子，電子の性質を理解する。 ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。	○			物質の構成粒子について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	
					○		物質の構成についての観察，実験を行い，物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できる。(行動観察，提出課題，定期考査)	
						○	物質の構成などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)	
第2学期	7 9 10	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 ・イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。	○			イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	18
					○		イオンやイオン結合の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	
						○	イオンやイオン結合などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)	
		2章 物質と化学結合 2節 共有結合	・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 ・分子からなる物質の性質を理解する。	○			共有結合を電子配置と関連付けて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。また，分子からなる物質の性質を理解している。(行動観察，提出課題，定期考査)	
					○		分子からなる物質の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	
						○	共有結合や分子かなる物質などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)	
		2章 物質と化学結合 3節 金属結合	・金属結合及び金属の性質を理解する。 ・身近な結晶の性質を調べる実験を行い，電子配置や化学結合の種類と関連付けて理解する。	○			金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに，金属の性質を理解している。(行動観察，提出課題，定期考査)	
					○		金属の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	
						○	金属に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)	
				○			科学的に探究する方法を理解するとともに，身近な物質の探究に必要な技能を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	
					○		身近な物質の探究に関する事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考え方を的確に表現している。(行動観察，提出課題，定期考査)	
						○	身近な物質の探究に関する事物・現象に主体的に関わり，それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)	
	11 12 1 2 3	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式	・物質と粒子数，質量，気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。	○			物質と化学反応式について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)	34
					○		物質と化学反応式についての観察，実験を行い，物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。(行動観察，提出課題，定期考査)	

第3学期						○	物質と化学反応式に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)
		3章 物質の変化 2節 酸と塩基	・酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	○			酸・塩基と中和について理解するとともに，器具の扱い方や溶液の調製方法など滴定操作における基本的な技能を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
					○		酸・塩基と中和についての観察，実験を行い，中和反応に関与する物質の量的関係を科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
						○	酸・塩基と中和に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)
		3章 物質の変化 3節 酸化還元反応	・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。また，酸化還元反応と日常生活や社会との関わりについて理解する。	○			酸化と還元について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
					○		酸化と還元についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
						○	酸化と還元に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)

令和8年度 化学基礎 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
70		3年 2名		
教科の目標	主体的に自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			
科目の目標	主体的に物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			
評価の観点	知識・技能【知】	思考力・判断力・表現力等【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】	
趣 旨	物質とその変化についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	

学期	月	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準（評価方法）	時数
				知	思	態		
第1学期	4 5 6	1章 物質の構成 1節 物質の探究	・物質の分離や精製などの実験を行い，実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付ける。 ・元素を確認する実験などを行い，単体，化合物について理解する。 ・粒子の熱運動と温度の関係，粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解する。	○			物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などについて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	18
					○		物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などの観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	物質の分離・精製や元素の確認，状態変化などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
	7 9 10	1章 物質の構成 2節 物質の構成粒子	・原子の構造及び陽子，中性子，電子の性質を理解する。 ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。	○			物質の構成粒子について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
					○		物質の構成についての観察，実験を行い，物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できる。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	物質の構成などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
第2学期	7 9 10	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 ・イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。	○			イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	18
					○		イオンやイオン結合の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	イオンやイオン結合などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
		2章 物質と化学結合 2節 共有結合	・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 ・分子からなる物質の性質を理解する。	○			共有結合を電子配置と関連付けて理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。また，分子からなる物質の性質を理解している。（行動観察，提出課題，定期考査）	
					○		分子からなる物質の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	共有結合や分子かなる物質などに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
		2章 物質と化学結合 3節 金属結合	・金属結合及び金属の性質を理解する。 ・身近な結晶の性質を調べる実験を行い，電子配置や化学結合の種類と関連付けて理解する。	○			金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに，金属の性質を理解している。（行動観察，提出課題，定期考査）	
					○		金属の性質についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	金属に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
				○			科学的に探究する方法を理解するとともに，身近な物質の探究に必要な技能を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	
					○		身近な物質の探究に関する事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考え方を的確に表現している。（行動観察，提出課題，定期考査）	
						○	身近な物質の探究に関する事物・現象に主体的に関わり，それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察，提出課題）	
	11 12 1 2 3	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式	・物質と粒子数，質量，気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。	○			物質と化学反応式について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（行動観察，提出課題，定期考査）	34
					○		物質と化学反応式についての観察，実験を行い，物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。（行動観察，提出課題，定期考査）	

第3学期						○	物質と化学反応式に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)
		3章 物質の変化 2節 酸と塩基	・酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	○			酸・塩基と中和について理解するとともに，器具の扱い方や溶液の調製方法など滴定操作における基本的な技能を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
					○		酸・塩基と中和についての観察，実験を行い，中和反応に関与する物質の量的関係を科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
						○	酸・塩基と中和に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)
		3章 物質の変化 3節 酸化還元反応	・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。また，酸化還元反応と日常生活や社会との関わりについて理解する。	○			酸化と還元について理解するとともに，実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
					○		酸化と還元についての観察，実験を行い，科学的に探究する力を身に付けている。(行動観察，提出課題，定期考査)
						○	酸化と還元に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。(行動観察，提出課題)

令和 8 年度 体育 I 課程 AB 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		1 年 1 名、2 年 1 名、3 年 2 名			
年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 渉外にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
I 学期	24	・体づくり運動 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。 イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。	【知・技】体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法を理解することができる。 【思・判・表】体の動きを高める運動について自他の課題を発見することができる。 【主学】きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力することができる。	・体づくり運動 ・マイトレーニングを作ろう	・体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ） ・集合・整列 ・体力測定 50m 走、100m 走、ボール投げ、握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈、立ち幅跳び、シャトルラン ・サーキット ・トレーニング作り
		・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。	【知識・技能】球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。 【思考力・判断力・表現力】球技についての自他の課題を発見することができる。 【学びに向かう力】きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力することができる。	・球技	・フロアバレーボール
		・水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。	【知識・技能】水泳の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 【思考力・判断力・表現力】水泳について自他の課題を発見することができる。 【学びに向かう力】きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保することができる。	・水泳	・水中運動（歩く・走る・ジャンプ） バタ足、水に潜る、呼吸法（息継ぎ）、クロール、平泳ぎ

2 学 期	28	・ダンス 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすること。 ・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。	【知識・技能】ダンスの楽しさや喜びを深く味わうことができる。 【思考力・判断力・表現力】ダンスについて自他の課題を発見することができる。 【学びに向かう力】一人一人の表現や役割を認め助け合うことができる。 【知識・技能】球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。 【思考力・判断力・表現力】球技についての自他の課題を発見することができる。 【学びに向かう力】きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力することができる。	・ダンス ・球技	・伝統的なダンス(エイサー) ・ゴールボール ・サウンドテーブルテニス
3 学 期	18	・陸上競技 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 ・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。	【知識・技能】陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができる。 【思考力・判断力・表現力】陸上競技について自分の課題を発見することができる。 【学びに向かう力】陸上競技のきまりやルール、マナーなどを守って安全に運動することができる。 【知識・技能】球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。 【思考力・判断力・表現力】球技についての自他の課題を発見することができる。 【学びに向かう力】きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力することができる。	・陸上競技 ・球技	・長距離走、持久走 ・フロアバレーボール ・風船バレー

令和8年度 保健 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		1年1名	
年間目標	(知及技)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	12	健康の考え方と成り立ち	
		私たちの健康のすがた	
		生活習慣病の予防と回復	
		がんの原因と予防、がんの治療と回復	
		運動と健康	
		食事と健康	
		休養・睡眠と健康	
		喫煙と健康	
		薬物乱用と健康	
2学期	14	精神疾患の特徴	
		精神疾患の予防	
		精神疾患からの回復	
		現代の感染症、感染症の予防	
		性感染症・エイズとその予防	
		健康に関する意思決定・行動選択	
		健康に関する環境づくり	
3学期	9	事故の現状と発生要因	
		安全な社会の形成	
		交通における安全	
		応急手当の意義とその基本	
		日常的な応急手当	
		心肺蘇生法	

令和8年度 保健 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		2年1名	
年間目標	(知及技)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	12	健康の考え方と成り立ち	
		私たちの健康のすがた	
		生活習慣病の予防と回復	
		がんの原因と予防、がんの治療と回復	
		運動と健康	
		食事と健康	
		休養・睡眠と健康	
		喫煙と健康	
		薬物乱用と健康	
2学期	14	精神疾患の特徴	
		精神疾患の予防	
		精神疾患からの回復	
		現代の感染症、感染症の予防	
		性感染症・エイズとその予防	
		健康に関する意思決定・行動選択	
		健康に関する環境づくり	
3学期	9	事故の現状と発生要因	
		安全な社会の形成	
		交通における安全	
		応急手当の意義とその基本	
		日常的な応急手当	
		心肺蘇生法	

令和8年度 保健 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		3年2名	
年間目標	(知及技)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	12	喫煙と健康	
		薬物乱用と健康	
		精神疾患の特徴	
		精神疾患の予防	
		精神疾患からの回復	
		現代の感染症、感染症の予防	
		性感染症・エイズとその予防	
		健康に関する意思決定・行動選択	
		健康に関する環境づくり	
2学期	14	事故の現状と発生要因	
		安全な社会の形成	
		交通における安全	
		応急手当の意義とその基本	
		日常的な応急手当	
		心肺蘇生法	
		ライフステージと健康	
		思春期と健康	
3学期	9	性意識と性行動の選択	
		妊娠・出産と健康	
		避妊法と人工妊娠中絶	
		結婚生活と健康	
		中高年期と健康	
		働くことと健康	

令和8年度 音楽ⅠⅠ課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		1年 1名	
年間目標	(知及技) 音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫するとともに、音楽のよさや美しさを味わうことができる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育み、音楽によって生活や社会を明るく豊かにする態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	24	正しい発声を身に付けて、豊かな響きで歌おう	
		楽譜を正しく読めるようになろう	
		日本語の歌曲を、美しい発音と曲にふさわしい歌声で歌おう	
		音楽って何だろう？	
		リズム・アンサンブルを楽しもう	
		能の特徴や魅力を感じ取ろう	
2学期	28	声楽の歴史と魅力を知ろう	
		イタリア語の発音の特徴を捉え、イタリア語の歌を歌おう	
		イタリア・オペラの鑑賞を通して、オペラ歌手の表現に富んだ歌い方に挑戦しよう	
		2人の作曲家による《Heidenröslein》を、それぞれの雰囲気を生かして歌おう	
		ガムラン音楽の構造とそれを育んできた風土との関わりについて考えてみよう	
		箏の唱歌を唱えて、箏の演奏に生かそう	
		和音進行の規則を理解して、曲をつくろう	
3学期	18	ベートーヴェンの《交響曲第9番》第4楽章を聴き、曲に込められた思いを感じ取ろう	
		《ウェスト・サイド物語》の背景を理解しながら鑑賞し、〈America〉の器楽合奏を楽しもう	
		歌詞に込められた主張を受け止めて歌おう	

令和8年度 音楽表現 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		2年1名、3年2名	
年間目標	(知及技) 音楽の基本的な理論を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。 (思判表力) 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴き、自分の考えや感じたことを他者へ伝える力を身に付ける。 (学・人) 協働して音楽を創り上げる活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、多様な価値観を尊重し音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	24	自分にとっての音楽の存在	
		楽器の構造や音色、奏法を理解し、音楽表現を工夫しながらアンサンブル活動しよう	
		曲に対する自己のイメージを豊かにし、歌唱表現しよう	
		伝統芸能の文化や歴史を理解し、そのよさや美しさを味わって聴こう	
2学期	28	様々な表現形態による歌唱表現について知り、他者と調和して表現しよう	
		様々な国の言語の特性や語感の違いを生かして歌唱表現を創意工夫しよう	
		オーケストラの響きや楽曲の構成を意識し、表現上の効果を味わって聴こう	
		物語と音楽との関わりに注目し、総合芸術における音楽の魅力を知ろう	
		音楽の役割(福祉、エンタメ、セラピー等)について知り、自分の音楽の生かし方を考えよう	
3学期	18	旋律に合う和音を選び、表現活動を工夫しよう	
		音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施しよう	
		自分にとっての音楽の存在は変容したか考えよう	

令和 8 年度 美術 I I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		1 年 1 名			
年間目標		(知及技) 対象や事象を造形的な視点で理解を深め、意図に応じ表現を創意工夫し、創造的に表す。 (思判表力) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表現について考え、発想し構想し、見方や感じ方を深める。 (学・人) 主体的に創造活動に取り組み、美術を通して、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	美術とは何かを話し、身体を通して感じる。	【知・技】美術とは何かについて他の人の経験も踏まえ再考できたか。 【思・判・表】自分なりの美術観を言語化することができたか。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	オリエンテーション	・これまでの経験を振り返る ・美術でやること、美術の意味について考える
	26	土の扱い方を理解し造形をする。	【知・技】粘土の性質を理解する。 【思・判・表】自分の作りたい形を土に触れながら思考し、表現する。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	粘土で陶器を作る	・土作り ・粘土からの造形
2 学期	14	土の扱い方を理解し造形をする。	【知・技】粘土の性質を理解する。 【思・判・表】自分の作りたい形を土に触れながら思考し、表現する。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	粘土で陶器を作る	・土作り ・粘土からの造形
	14	主題を決め、画材を効果的に活用する。	【知・技】色の効果や組み合わせ、画材の使い方を理解する。 【思・判・表】物語の感想を絵画として構成し表現することができる。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	読書感想画	・物語を絵で表現する ・画材の取扱
3 学期	10	言葉がどのようなイメージを生むか意識することができたか	【知・技】言葉を使ったアート作品とその意図を理解することができる。 【思・判・表】音を発生する装置を使い、共同で表現する。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	言葉とイメージ	・言葉を使った作品の制作
	4	抽象的なイメージから表現する	【知・技】素材や色、形の効果を意識して活用することができる。 【思・判・表】卒業や別れなどからイメージを膨らませて表現することができる。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	卒業式装飾	・卒業を祝う装飾物の作成

令和8年度 英語コミュニケーションⅠⅠ課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
105		1年 1名	
年間目標	(知及技) 語彙や表現を適切に活用しようとする態度を養う。 (思判表力) 場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。 (学・人) 主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	36	GET READY ①～④	
		Lesson 1 The Beautiful Scenery	
		Lesson 2 My Best Friend	
2学期	42	Lesson 3 Love for Dance	
		FOCUS+①	
		Lesson 4 The Capsule Toys	
		Lesson 5 The History of Chocolate	
3学期	27	Lesson 6 A Dog Trainer	
		FOCUS+②	
		COMMUNICATE+①	

令和8年度 英語コミュニケーションⅠⅠ課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		2年 1名	
年間目標	(知及技) 語彙や表現を適切に活用しようとする態度を養う。 (思判表力) 場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。 (学・人) 主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	24	Lesson 7 Serendipityy	
		Lesson 8 Sapeurs	
2学期	28	Lesson 9 Is Santa Real?	
		Lesson 10 Clean Water	
		READING	
		FOCUS+③	
3学期	18	COMMUNICATE+②	
		HINTS+	

令和8年度 英語コミュニケーションⅡ I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		3年 2名	
年間目標	(知及技) 語彙や表現、文法などを習得し、適切に活用できる技能を身に付ける。 (思判表力) 目的や場面、状況などに応じて、基本的な語彙や文法の知識を活用して、適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。 (学・人) 英語の背景にある多様な文化や考え方に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に円滑なコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	題材名	
Ⅰ学期	24	Lesson 7 Artificial Intelligence	
		Lesson 8 The Mystery of Colors	
		Lesson 9 Street Performers	
		Lesson10 The Culture of Selfies	
2学期	28	Lesson11 Finland	
		Lesson12 In Order to Live a Happy Life	
		READING	
3学期	18	FOCUS+	
		COMMUNICATE+	
		HINTS+	

令和 8 年度 美術表現 I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年生 2 名			
年間目標		(知及技) 対象や事象を造形的な視点で理解を深め、意図に応じ表現を創意工夫し、創造的に表す。 (思判表力) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表現について考え、発想し構想し、見方や感じ方を深める。 (学・人) 主体的に創造活動に取り組み、美術を通して、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	28	土作りや手びねりなど、基本的な操作を理解する	【知・技】土の特性を理解することができたか。 【思・判・表】手びねりで制作する中で、自分のクセを理解し、表現物を完成させることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	土作り手びねり	・土作りを通して粘土の特性を理解する ・手びねりで陶器の制作
2 学期	28	面白い土器や独創的な土器など、自分なりの土器を完成させることができたか。	【知・技】土の特性を理解することができたか。 【思・判・表】これまでの器について理解し、独創的なカタチを表現することができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	独創的なカタチ	・主題を生成し、土を使った表現を行う
3 学期	10	自分の作品の意図に合った展示を行う。	【知・技】タイトルやキャプションなど、展示をして他者に伝える方法を理解する。 【思・判・表】他者視点で自分の表現物を伝えようとすることができたか。 【主学】自分の作品を客観的に捉え展示ができたか。	展示	・制作したものの展示
	4	いつか、誰かに届けるメッセージという題材から意図を持って言葉を紡ぐことができる	【知・技】言葉の技術を高めることができる。 【思・判・表】誰かに届けるメッセージ、誰かに届けて欲しいメッセージというテーマから作品を考えることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	誰かへのメッセージ	・メッセージ考えを校舎に配置する

令和 8 年度 美術表現 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		2 年生 1 名			
年間目標		(知及技) 対象や事象を造形的な視点で理解を深め、意図に応じ表現を創意工夫し、創造的に表す。 (思判表力) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表現について考え、発想し構想し、見方や感じ方を深める。 (学・人) 主体的に創造活動に取り組み、美術を通して、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	28	土作りや手びねりなど、基本的な操作を理解する	【知・技】土の特性を理解することができたか。 【思・判・表】手びねりで制作する中で、自分のクセを理解し、表現物を完成させることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	土作り手びねり	・主題を生成し、自分のイメージを形にする ・陶土の扱い方を理解する
2 学期	28	形のバランスや美しさを考えて陶器を作る。	【知・技】土の特性や機器の操作を理解することができたか。 【思・判・表】意図を持って表現することができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	器を作る	・電動ろくろなどを使い成形をする
3 学期	10	自分の作品の意図に合った展示を行う。	【知・技】タイトルやキャプションなど、展示をして他者に伝える方法を理解する。 【思・判・表】他者視点で自分の表現物を伝えようとすることができたか。 【主学】自分の作品を客観的に捉え展示ができたか。	展示	・制作したものの展示
	4	いつか、誰かに届けるメッセージという題材から意図を持って言葉を紡ぐことができる	【知・技】言葉の技術を高めることができる。 【思・判・表】誰かに届けるメッセージ、誰かに届けて欲しいメッセージというテーマから作品を考えることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	誰かへのメッセージ	・メッセージ考えを校舎に配置する

令和8年度 家庭総合 I 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		1年 1名	
年間目標		(知及技) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 (学・人) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとする。とともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1学期	24	家庭科の学び方ー学習から実践へ	
		生涯発達する自分一人と人とのつながりのなかで	
		青年期を生きる、キャリアの形成、ワークライフバランスを求めて	
		家族・家庭の働き、パートナーと出会う	
		結婚と変化する家族、家族に関する法律	
		次世代をはぐくむ、命のはじまり、乳幼児の体と心の発達	
		親と子のかかわり、乳幼児の生活と安全、子どもの成長と遊び	
		調理実習① 家族の食事をつくろうー和風献立	
2学期	28	私たちと食事、健康に配慮した食生活、食生活の変化	
		持続可能な食生活、食生活の文化	
		人体と栄養、五大栄養素、嗜好品と健康食品	
		食品の選択と保存、食品の安全と衛生	
		栄養バランスのよい食事、食品群と摂取量のめやす、ライフステージと食事	
		献立作成の手順、調理の基本	
		調理実習② 家族の食事をつくろうー洋風献立	
3学期	18	私たちと住まい、平面図の活用、住まいのインテリア	
		長く住み続けるために、生涯を見通した住まいの工夫	
		快適で健康な住まい、安全で安心な住まい、住まいと地域社会のかかわり	
		調理実習③ 短時間で手早くつくろうーお弁当	

令和8年度 家庭総合 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		2年 1名	
年間目標	（知及技）人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （思判表力）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 （学・人）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとする。ともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	24	超高齢社会を生きる、人生の中で高齢期をとらえる、高齢期の生活	
		高齢社会を支える、充実した高齢期へ	
		社会保障制度と社会連帯、人の多様性と社会参加	
		私たちと衣生活、被服の機能、被服の選び方	
		被服の素材、選択方法と表示、洗濯のしくみ、被服の手入れと保管	
		衣文化の継承と創造、時速可能な衣生活	
2学期	28	私たちの被服ができるまで、体型と採寸、被服製作の基本	
		被服実習 ハーフパンツ	
3学期	18	人生とお金、収入と支出のバランス、将来の経済生活を考える	
		契約とは、消費者問題はなぜ起こるのか	
		多様化する支払い方法とリスク防止、消費者の自立と行政の支援	
		消費生活と持続可能な社会、消費者市民社会をめざして	

令和8年度 情報Ⅰ I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		2年 1名	
年間目標	(知及技)(1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに, 情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。 (思判表力)(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う (学・人)(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに, 情報社会に主体的に参画する態度を養う		
学期	時数	題材名	
1学期	24	1 情報社会	
		2 情報社会の法規と権利	
		3 情報技術が築く新しい社会	
		4メディアとコミュニケーション	
2学期	28	1情報デザイン	
		2情報デザインの実践	
		3情報システムの構成	
		4情報のデジタル化	
		5情報通信ネットワーク	
		6情報セキュリティ	
3学期	18	1 問題解決	
		2データの活用	
		3モデル化	
		4シミュレーション	
		5プログラミングの方法	
		6プログラミングの実践	

令和8年度 情報Ⅰ I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		3年 2名	
年間目標	(知及技)(1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。 (思判表力)(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う (学・人)(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う		
学期	時数	題材名	
1学期	24	1 情報社会	
		2 情報社会の法規と権利	
		3 情報技術が築く新しい社会	
		4メディアとコミュニケーション	
2学期	28	1情報デザイン	
		2情報デザインの実践	
		3情報システムの構成	
		4情報のデジタル化	
		5情報通信ネットワーク	
		6情報セキュリティ	
3学期	18	1 問題解決	
		2データの活用	
		3モデル化	
		4シミュレーション	
		5プログラミングの方法	
		6プログラミングの実践	

令和8年度 産業社会と人間 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年生2名			
年間目標		(知及技) 社会生活や職業選択に必要な知識を理解するとともに、関連する基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) 社会に関する課題に関心を持ち、自らの意見や考えを表現し他者へ伝える力を身に付ける。 (学・人) 自己の充実を目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	28	- 働く意義について考え、仕事の三要素について理解する。 - 職業の種類やその特徴を理解し、収集した進路情報を基に就業体験先や進路選択(進学、就職)について考えることができる。 - 現実の社会で働いている人の話を聞き、職業人として働くことの意義を理解する。 - 製作物や活動の流れ等について対話を通して進める。	【知・技】 自己の将来の生き方や進路について考察するための知識や技能について理解し、働くことがどういうことなのかを知る。 【思・判・表】 自己の能力、適正、興味・関心等と、職業に求められる資質・能力について主体的に考え、必要な情報を収集し、まとめ、伝え、将来の生き方や進路選択に生かしている。 【主学】 課題の解決に向けた学習に主体的・協働的に取り組もうとする。	- 自己を見つめる - 働くことの意義 - 講話(専攻科教諭) - 就業体験の目的 - 就業体験振り返り - 製作物の決定 - 製作活動・販売学習 - 大学入試について	- ワークシートを活用して、性格的特徴や行動的特徴について自分と他者の回答を比べる。 - 職業について調べたり講話を聞いたりして、業種や職業について知る。 - 就業体験先について調べ、目標を立てる。体験後に振り返りをする。 - 製作物を決め、作成に取り組む。 - 大学入試の流れについて学ぶ。
2学期	28	- コミュニケーションスキルのしくみを理解し、身体と気持ちを意識してスキルを高める。 - 望ましい自己表現を確立し、社会生活や対人関係を営む上で必要とされるコミュニケーションスキルを身に付ける。 - 様々な体験を通し、進路選択に必要な情報収集について考えることができる。	【知・技】 自己の将来の生き方や進路について考察するための知識や技能について理解し、働くことがどういうことなのかを知る。 【思・判・表】 自己の障害についてや能力、適正、興味・関心等と、職業に求められる資質・能力について主体的に考え、必要な情報を収集し、まとめ、伝え、将来の生き方や進路選択に生かしている。 【主学】 課題の解決に向けた学習に主体的・協働的に取り組もうとする。	- コミュニケーションスキル(視覚障害について、支援についての伝え方) - 製作活動・販売学習 - ボランティア活動 - 大学見学(視覚支援について) - 進路講話	- 人とつながる様々な手段について考え、メリット、デメリットについて討論する。 - 様々な場面を想定した実践を通し、自己理解を深める。 - 製作物を決め、作成に取り組む。 - ボランティアについて調べ、体験につなげる。 - 県内の大学について情報収集し、見学する。 - 卒業生のお話を聞き、進路選択や自己のネットワークについて考える。
3学期	14	- 生涯を見通した生活における家計管理や計画について考えることができる。 - 社会保障制度について理解し、課題について考えることができる。 - 多様な生き方について情報を選択・活用し、主体的に意思決定する力を身に付ける。	【知・技】 自己の将来のライフプランを考える上で必要な様々な知識や技能を理解する。 【思・判・表】 自己の障害についてや能力、適正、興味・関心等と、職業に求められる資質・能力について主体的に考え、必要な情報を収集し、まとめ、伝え、将来の生き方や進路選択に生かしている。 【主学】 課題の解決に向けた学習に主体的・協働的に取り組もうとする。	- 金銭管理 - 社会保障制度 - ライフプラン - 卒業生の進路	- ワークシートやゲームを通して、生活に必要なお金や有効な使い方について討論する。 - 社会福祉制度の四つの柱について学び、課題を見つける。 - 自己理解を整理し、具体的なライフプランについて考え発表する。 1年を振り返り、進路選択についてまとめる。

令和8年度 LHR I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		1年1名			
年間目標		○(知及技)多様な他者と協働する様々な集団生活の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 ○(思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するための話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ○(学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・ 題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・個人目標を決める。 ・学級での自分の役割を確認する。 ・校内外を散策し、環境把握をする。 ・平和について考える。 ・実習先や就業体験の目的を確認する。 ・1学期の振り返りを行う。	(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報及び方法を理解している。 よりよい生活や社会を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。	年間計画を立てる 道徳的内容 平和と学習 (平和の礎の読み上げ) 交流学習 進路について 1学期の反省・夏休みの計画	・学級目標、個人目標を立てる。(思) ・他者との関わり方について考える。(思) ・沖縄戦について調べ、調べたことについて質問や意見交換、発表を行う。(思)(主) ・平和講話への参加等を通し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える。(思) ・他校生徒との交流を深めことができる。(思)(主) ・キャリアパスポートを活用し、進路について考える。(思)(主) ・就業体験(校内実習)に向けて、準備や確認ができる。(知)(主) ・1学期を振り返り、自らの課題を見つけ、夏休みの計画を考える。(思)
2学期	14	・見通しを持って2学期をスタートする。 ・文化祭に向けて意欲的に活動をする。 ・自分の進路に向けて準備する。 ・2学期の振り返りを行う。	(思判表力)所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決法を話し合い、合意形成を図り、意思決定をしたりして実践している。 (学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。	2学期の活動計画 道徳的内容 文化祭に向けて 進路について 読書月間に向けて 点字について 交流学習 冬休みに向けて	・2学期の行事を確認し、教室環境整備ができる。(思)(主) ・夏休みを振り返り、2学期の目標を立てる。(思)(主) ・集団や社会との関わりに関することについて考える。(思)(主) ・文化祭の役割分担等について確認し、各自の仕事について自覚して行動できる。(知)(主) ・これまでの準備等反省を踏まえ、本番に向けて計画を立てることができる。(知)(主) ・自分の進路について必要なことを考え準備できる。(思)(主) ・読書講話に参加する。(思) ・点字記念日集会に参加し、点字をより深く理解する。(知) ・他校生徒との交流を深めことができる。(思) ・2学期を振り返り、充実した年末年始になるよう、計画する。(思)(主)
3学期	9	・見通しを持って3学期をスタートする。 ・3年間を振り返る。 ・卒業後の進路に備える。	(学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。	新年を迎えて卒業後の生活について 卒業式に向けて 3年間を振り返る	・新年の目標、テスト等に向けて計画を立てる。(思) ・相手との会話について考える。(思) ・身だしなみやマナーについて考え、理解を深める。(知)(思) ・卒業式に向けての諸活動に取り組む。(思)(主) ・1年間の成果と課題を振り返り、今後の学習の見通しをもつ。(思)(主)

令和8年度 LHR I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		2年1名			
年間目標		○(知及技)多様な他者と協働する様々な集団生活の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 ○(思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するための話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ○(学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・ 題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・学校にはどんな人がいて、どんなルールがあるのかを確認できたか ・集団生活の最低限のマナーを個々の事象から考えたか	(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。	学校のルール 集団のマナー	・多様な人の存在を理解する。(知) ・多様な人といかに生活するのかを考える。(思)(主) ・他者との関わり方について考える。(思)
2学期	14	・運動会に参加するとはどういうことか考えられたか ・やりたいことを実現するため必要なことを考えたか ・薬物のリスクについて考えたか	自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報及び方法を理解している。 よりよい生活や社会を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。	運動会について やりたいことをやるために 薬物のリスク	・運動会ではどのように振る舞うのが全体として面白いのかを考え行動する。(知)(主) ・やりたいことが出来るようになるために最低限必要なことについて考え、自分なりの答えを出していく。(知)(主) ・薬物と法、マナー、生き方について考え、自分なりの答えを出していく。(思)(主)
3学期	9	・ストレスをいかに解消するのかを思考できたか ・1年間を振り返ることができたか ・卒業・進級後の目標を考えたか	(思判表力)所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決法を話し合い、合意形成を図り、意思決定をしたりして実践している。 (学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。	ストレス回避 振り返り 目標設定	・一年を振り返り、自分の中の変化を客観的に捉える。(思) ・ストレスとは何かから依存や、人生観について考える。(知)(思) ・卒業後や進級後についての自分なりのイメージや目標を考える。(思)(主)

令和8年度 LHR I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		3年2名			
年間目標		○(知及技)多様な他者と協働する様々な集団生活の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 ○(思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するための話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ○(学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・ 題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・個人目標を決める。 ・学級での自分の役割を確認する。 ・校内外を散策し、環境把握をする。 ・平和について考える。 ・実習先や就業体験の目的を確認する。 ・1学期の振り返りを行う。	(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報及び方法を理解している。 よりよい生活や社会を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。	年間計画を立てる 道徳的内容 平和学習 交流学习 進路について 1学期の反省・夏休みの計画	・学級目標、個人目標を立てる。(思) ・クラスの係活動の内容を話し合う。(知) ・他者との関わり方について考える。(思) ・平和講話への参加等を通し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える。(思) ・他校生徒との交流を深めことができる。(思)(主) ・進路講話や就業体験を通して、進路について考える。(思)(主) ・就業体験に向けて、準備や確認ができる。(知)(主) ・1学期を振り返り、自らの課題を見つけ、夏休みの計画を考える。(思)
2学期	14	・見通しを持って2学期をスタートする。 ・文化祭に向けて意欲的に活動をする。 ・自分の進路に向けて準備する。 ・2学期の振り返りを行う。	(思判表力)所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決法を話し合い、合意形成を図り、意思決定をしたりして実践している。 (学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。	2学期の活動計画 道徳的内容 文化祭に向けて 進路について 読書月間に向けて 点字について 交流学习 冬休みに向けて	・2学期の行事を確認し、教室環境整備ができる。(思)(主) ・夏休みを振り返り、2学期の目標を立てる。(思)(主) ・集団や社会との関わりに関することについて考える。(思)(主) ・文化祭の役割分担等について確認し、各自の仕事について自覚して行動できる。(知)(主) ・これまでの準備等反省を踏まえ、本番に向けて計画を立てることができる。(知)(主) ・自分の進路について必要なことを考え準備できる。(思)(主) ・読書講話に参加する。(思) ・点字記念日集会に参加し、点字をより深く理解する。(知) ・他校生徒との交流を深めことができる。(思) ・2学期を振り返り、充実した年末年始になるよう、計画する。(思)(主)
3学期	9	・見通しを持って3学期をスタートする。 ・3年間を振り返る。 ・卒業後の進路に備える。	(学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。	新年を迎えて卒業後の生活について 卒業式に向けて 3年間を振り返る	・新年の目標、テスト等に向けて計画を立てる。(思) ・相手との会話について考える。(思) ・身だしなみやマナーについて考え、理解を深める。(知)(思) ・卒業式に向けての諸活動に取り組む。(思)(主) ・1年間の成果と課題を振り返り、今後の学習の見通しをもつ。(思)(主)

令和 8 年度 総合的な探究の時間 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		1 年 1 名			
年間目標		探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。 (知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	年間の計画を話し合い立てる。 高等部の生徒の名前や声を覚え、交流を図る。 沖縄戦について調べ、自分の意見を持つ 就労について考え将来の仕事について考える 1 学期の活動を振り返る	【知・技】 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気づいている。 【思・判・表】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現しり力を身につけている。	年間計画 ビジネスマナー SST 就業体験事前学習・事後学習 1 学期のまとめ	・今年度の計画を立てる。 ・新入生を盛大に迎える。 ・自己紹介をする。 ・沖縄戦について調べ、調べたことについて質問や意見交換を行う ・調べたことをまとめ発表・意見交換する。 ・校内実習の事前学習や事後学習を通して、働くことの意味や自分の適性及び課題を知る。 ・1 学期の学習を振り返る。
2 学期	14	2 学期の計画を話し合う。 先輩方の話を聞き、就労について考え将来の仕事について考える	【主学】 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢	2 学期の学習計画 専攻科の体験授業依頼をしよう 2 学期のまとめ	・2 学期の学習計画を立てる。 ・社会で必要とされる能力について学ぶ。 ・公共交通機関を利用したスケジュールを自分達で立てる。 ・2 学期の学習を振り返る。

		2学期の活動を振り返る	献しようとしている。		返る。
3 学期	9	3学期の計画を話し合う。 計画を立てて、協力して調理実習を行う。 1年の活動を振り返る		新年の抱負 バリアフリースポーツを考えよう 振り返り	・新年の抱負を発表する。 ・計画を立てて調理実習を行う。 ・身につけておくべきことを再確認する。 ・一年間の振り返りをする。

令和 8 年度 総合的な探究の時間 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		2年1名			
年間目標		探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うこと通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。 (知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	校内の場所を把握する 働くことについて考える	【知・技】 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気づいている。 【思・判・表】	地域の作物について知る 就業体験事前学習・事後学習	・沖縄県の作物を学習し、栽培する。 ・校内実習の事前学習や事後学習を通して、働くことの意味や自分の適性及び課題を知る。 ・1 学期の学習を振り返る。
2 学期	14	汗をかいて、働いてみよう	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現し力をつけている。 【主学】	野菜の栽培と収穫 野菜を使った調理 料理の開発	・野菜を栽培し、収穫する。 ・調理器具などの使い方を知り、簡単な調理方法を学ぶ。 ・調理の基本から、新しい料理を開発する。
3 学期	9	販売活動を通じて感謝されて、感謝する	についての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。	生産物の販売 お菓子作りと販売	・収穫した野菜の販売をする。 ・お菓子を制作して販売する。

令和 8 年度 総合的な探究の時間 I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		3 年生 2 名			
年間目標		探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うこと通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。 (知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	年間の計画を話し合い立てる。 高等部の生徒の名前や声を覚え、交流を図る。 沖縄戦について調べ、自分の意見を持つ 就労について考え将来の仕事について考える 1 学期の活動を振り返る	【知・技】 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気づいている。 【思・判・表】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現しり力を身につけている。	年間計画 ビジネスマナー SST 就業体験 事前学習・事後学習 1 学期のまとめ	・今年度の計画を立てる。 ・新入生を盛大に迎える。 ・自己紹介をする。 ・沖縄戦について調べ、調べたことについて質問や意見交換を行う ・調べたことをまとめ発表・意見交換する。 ・校内実習の事前学習や事後学習を通して、働くことの意味や自分の適性及び課題を知る。 ・1 学期の学習を振り返る。
2 学期	14	2 学期の計画を話し合う。 先輩方の話を聞き、就労について考え将来の仕事について考える	【主学】 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢	2 学期の学習計画 専攻科の体験授業依頼をしよう	・2 学期の学習計画を立てる。 ・社会で必要とされる能力について学ぶ。 ・公共交通機関を利用したスケジュールを自分達で立てる。

		2学期の活動を振り返る	献しようとしている。	2 学期のまとめ	・2 学期の学習を振り返る。
3 学期	9	3学期の計画を話し合う。 これまでの学びを将来につなげ、後輩に役立つ形で残せる活動を行う。 1 年の活動を振り返る		新年の抱負 振り返り	・新年の抱負を発表する。 ・学校生活や進路選択について、講話を行う。 ・身につけておくべきことを再確認する。 ・一年間の振り返りをする。

令和8年度 国語 II課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年1名			
年間目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を育成することを目指す。 (知及技) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。 (思判表力) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。 (学・人) 言語で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 3学期	70	・集中して物語の朗読を聴くことができる。 ・物語の感想を簡単な文章にまとめられる。 ・あらすじや心情をよみ取れる。 ・詩や短文、物語や古典文学の冒頭を覚える。 ・沖縄の言葉に興味をもつことができる。 ・挨拶や適切な言葉遣いができる。 ・一文字ずつ、はっきり早く言葉を発することができる。 ・自分の好きなことや今、考えていることなどを文章にし、発表する。 ・毎月や季節ごとの行事を知る。 ・点字記録会に参加できる。 ・教師が読む行事の資料の内容を静かに聞いたり、復唱したりできる。 ・卒業生や先生に思い出やお礼を手紙で伝えることができる。	【知・技】 ・物語等の読み聞かせを聞き言葉の響きやリズムに親しんだ。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな文の表現に触れることができた。 【思・判・表】 ・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりすることができた。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい順序を考えた。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができた。 ・友だちの発表に興味を持って聞くことができた。 【主学】 ・言葉で表すことのよさを感じ、言葉を使おうとする態度を表すことができる。	読書に親しむ 名文暗唱 沖縄の方言を学ぶ 就業体験について 早口言葉 意見文を書こう 季節を楽しむ 点字 学校行事の取り組み 卒業生や先生に手紙を書こう	・物語を聞き、言葉に興味を持たせる。 ・朗読を聞き、簡単な質問に答える。 ・あらすじや心情を読み取る問題に取り組む。 ・教師が読んだ本に対しての感想を述べる。 ・様々な作品を暗唱し、味わう。 ・あいさつや数え歌などを学習する。 ・校内実習、就業体験のしおりを読む。 ・早口言葉を練習し、滑舌や発声の上達を目指す。 ・自分の気持ちなどをことばで表現できることを目指す。 ・月の行事や季節の行事を紹介し、触覚、嗅覚、聴覚、味覚を使い、楽しむ ・めの字・五十音など一部に参加する。 ・行事の感想等を自ら考え、みんなに発表することができる。 ・手紙の書き出しや相手のことを思い手紙を書く。

令和8年度 社会 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		3年1名			
年間目標		・社会的な見方や考え方を身に付ける。(知・技) ・社会的な事象を自分の生活と関連付けて考え、社会への関わり方を判断する力を養う。(思・判・表) ・社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に活用する態度を養う。(学・人)			
学期	時数	単元名	単元目標	学習内容	評価規準
1	24	国や社会のきまり 歴史上の人物 稲作について 平和について考えよう。	○社会のきまり(ルール・規則)を理解する。(知・技) ○歴史上の人物に触れ、先人たちの考えや言葉について学ぶ。(知・技) ○稲作から農業、食生活について考える(思・判・表) ○平和に対する考えをまとめる。(主学)	1 国や地方公共団体のきまり 2 働く人を守る法律 3 高橋福治 4 渋沢栄一 5 野口英夫 6 稲作(苗作り、田作り) 7 第二次世界大戦からの学び	社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解している。(知・技) 生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性について理解している。(知・技)
2	28	私達のくらしを支える社会の仕組み 公共交通機関 銀行・郵便局 役所での手続き	○貨幣や税金の大きな枠組み、流れを理解する。(知・技) ○社会保障制度の種類と必要性について考える。(思・判・表) ○社会福祉の仕組みを理解する。(知・技) ○自分達の生活と結び付けて考える(主学) ○公共の交通機関の利用マナーを理解する。(思・判・表) ○役所でできる手続きの種類や方法を理解する。(主学)	1 貨幣の種類、税金と私たちの生活 2 くらしを守る社会保障制度 3 社会福祉について 4 種類と利用のマナー 5 金融とは 6 銀行の仕事 7 郵便局の仕事 8 くらしの窓口 9 主な手続き	・社会生活の中で自分の役割と責任について考えることができる。(思・判・表) ・地域の人々と互いに協力することの大切さを理解することができる。(主学)
3	18	警察・消防 病院や保健所 新聞・マスコミ	○警察や消防の働きを理解する。(知・技) ○病院や保健所の役割を理解する。(知・技) ○マスメディアの意味を理解し、活用方法について考える。(思・判・表) ○時事問題について、自ら情報収集することができる。(主学)	1 警察の働き 2 消防の働き 3 病院の種類と役割 4 病院の診察 5 保健所について 6 マスメディアの広がり 7 情報の活用	
年間総時数 70					

令和8年度 数学 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年1名			
年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元名	単元の目標	単元の活動内容	単元の評価規準
1 学期	24	数と計算	- 整数、小数、分数及び概数の意味と表し方、その計算の意味や性質について理解し、それらを計算することができる。 - 数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりすることができる。	- 整数の表し方 - 整数及び小数の表し方 - 概数 - 整数の加法及び減法 - 整数の乗法 - 整数の除法 - 小数の計算 - 小数の乗法と除法 - 分数とその計算 - 数量の関係を表す式 - 計算に関して成り立つ性質	【知・技】 ○整数、小数、分数及び概数の意味と表し方、その計算の意味や性質について理解し、それらを計算することができる。 【思・判・表】 ○数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりすることができる。 【主学】 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。
2 学期	28	図形	- 図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質について理解し、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めたりすることができる。 - 図形の構成の仕方を考察し、三角形、平行四辺形、ひし形の面積の求め方を考え、公式として導くことができる。	- 平面図形 - 立体図形 - ものの位置 - 平面図形の面積	【知・技】 ○図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質について理解し、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めたりすることができる。 【思・判・表】 ○図形の構成の仕方を考察し、三角形、平行四辺形、ひし形の面積の求め方を考え、公式として導くことができる。 【主学】 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。

		量と測定 変化と関係	・ 比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解し、目的に応じて数量を比べたり、表現したりすることができる。 ・ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化を表や式を用いて考察したり、割合を用いた数量の比べ方を考察したりすることができる。	・ 伴って変わる二つの数量 ・ 異種の二つの量の割合として捉えられる数 ・ 二つの数量の関係	【知・技】 ○ 比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解し、目的に応じて数量を比べたり、表現したりすることができる。 【思・判・表】 ○ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化を表や式を用いて考察したり、割合を用いた数量の比べ方を考察したりすることができる。 【主学】 ○ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。
3 学期	18	データの活用	・ データを円グラフや帯グラフで表す表し方や読み取り方、測定した結果を平均する方法について理解し、問題解決に活用することができる。 ・ 目的に応じてデータを収集し、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程を考察したりすることができる。	・ データの収集とその分析 ・ 測定した結果を平均する方法	【知・技】 ○ データを円グラフや帯グラフで表す表し方や読み取り方、測定した結果を平均する方法について理解し、問題解決に活用することができる。 【思・判・表】 ○ 目的に応じてデータを収集し、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程を考察したりすることができる。 【主学】 ○ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしている。

令和8年度 理科 II課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		3年1名			
年間目標		(知及技) 自分自身、身近人々、社会・自然に関心を持つことができる。 (思判表力) 身の回りの様子に気付き、感じたことを伝えることができる。 (学・人) 自然を愛する心情を養い、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 身近なものや道具、自然に興味をもって関わる。 (思判表力) 自然に触れて、その美しさや不思議さなどに気付く。自分の思ったことを伝える。 (学・人) 感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。	(知・技) 活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。 (思・判・表) 活動に対して、自分の考えや動作で反応している。 (主・学) 活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。	・教科書を読む (天体) ・校庭散策 ・生物分類を知る。 ・植物を育てる ・天候 ・方角	・教科書で天体について学び、生き物カードを活用し、生物の分類に親しむ。 ・校庭での自然体験、太陽の位置確認、植物栽培を通して、方角・気温・天気など季節の変化に気付く。
2学期	28	(知及技) 身の回りの生命や自然、ものの仕組みを感じ、状況の変化に関心を持つ。 (思判表力) 身の回りの生命や自然、ものについて気付き伝えようとする。 (学・人) 感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。	(知・技) 活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。 (思・判・表) 活動に対して、自分の考えや動作で反応している。 (主・学) 活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。	・教科書を読む (温度・音・光) ・天候 ・方角 ・温度変化と反応速度 ・くだもの電池と音について	・教科書で「温度・音・光」について学び、実験にも取り組む。 ・温度の異なる物質(お湯・水・氷)に触れ、反応速度の違いから温度と変化の関係を学ぶ。 ・素材の異なる物質(ポカリ・水・各種ジュース・牛乳)によって、電子オルゴールの音の変化の関係を学ぶ。 ・太陽の位置確認、植物栽培を通して、方角・気温・天気など季節の変化に気付く。
3学期	18	(知及技) 身の回りの生命や自然、ものの仕組みを感じ、状況の変化に関心を持つ。 (思判表力) 身の回りの生命や自然、ものについて	(知・技) 活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。 (思・判・表) 活動に対して、自分の考えや動作で	・教科書を読む (生物) ・校庭散策 ・天候 ・人間のからだ	・教科書や生き物カードを活用し、生物の分類に親しむ。 ・校庭での自然体験、太陽の位置確認、植物栽培を通して、方角・気温・

		て気付き伝えようとする。 (学・人)感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。	反応している。 (主・学)活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。		天気など季節の変化に気付く。 ・ヒトの身体・動物の身体の違い点(骨格・皮膚・心臓・消化器官(排泄)など)について学習する。
--	--	--	--	--	---

令和8年度 音楽 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		3年1名			
年間目標		(知及技)音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。 (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりによさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人)主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	・呼吸や姿勢、発声に気をつけ、歌詞との関わりや言葉を理解し、歌唱することができる。 ・楽器の音色やリズムの特徴を意識して演奏することができる。 ・創意工夫を生かしたリズムで身体表現ができる。 ・曲想やリズムなどの関わりを意識して鑑賞することができる。	【知識・技能】 ・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造の関わりについて理解している。 ・声の音色や響きに気を付けて歌っている。 ・曲想と楽器の音色、演奏の仕方を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・歌唱表現についての知識や技能を生かしたりしながら、創意工夫して表現している。 ・器楽表現についての知識・技能を生かしたりしながら、曲の雰囲気に合った表現を工夫している。 【主体的に取り組む態度】 ・音や音楽を生活や社会に生かそうとし、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとする。	・歌唱 あくびの歌 校歌 翼をください この道 さとうきび畑、他 ・器楽 喜びの歌 ぐるぐるピ アノ ・身体表現 マイムマイム ・鑑賞 くるみ割り人形	・口形や呼吸、姿勢を確認しながら正しい発声で歌う。 ・歌詞の内容や曲の雰囲気との関連について気付いたことを発表する。 ・いろいろな楽器の演奏を体験し、得意な楽器を見つける。 ・いろいろなリズムや速度で演奏する。 ・範唱、範奏を聴き練習する。 ・曲を聴いて感じたことを発表する。
2学期	28	・歌詞の内容や情景をイメージしてのびのびと歌唱することができる。 ・打楽器や鍵盤楽器の奏法を身に付ける。 ・友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。 ・音楽を聞きながら体を使って表現することができる。 ・郷土の音楽や様々なジャンルの音楽に親しむ。	【知識・技能】 ・曲名や曲の雰囲気と音楽との構造の関わりについて理解している。 ・発声や言葉の発音を意識し歌っている。 ・リズムや速度、音色を意識して演奏している。 ・音や音楽を聴いて様々な動きを組み合わせる身体表現している。 ・曲想及びリズムと速度、旋律の特徴との関わりが分かる。 【思考力・判断力・表現力】 ・歌唱表現、器楽表現についての知識や技能を生かしながら、曲の雰囲気に合った表現を工夫している。 ・リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ、工夫して体を動かしている。 ・曲や演奏の良さを味わいながら聴いている。	・歌唱 里の秋 夢の世界 野ばら おおシャンゼリゼ ・器楽 いつも何度でも 木星 ・鑑賞 交響曲第9番 ウェストサイド ストーリー	・伴奏の雰囲気に合った発声で歌う。 ・音程や歌詞の情景をイメージしながら歌う。 ・いろいろな楽器の奏法を体験する。 ・強弱を意識し、いろいろなリズムや速度で演奏する。 ・友達と音を合わせて演奏する。 ・範唱、範奏を聴き練習する。 ・曲を聴いて感じたことを発表する。

			【主体的に取り組む態度】 ・音や音楽を生活や社会に生かそうとし、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとする。		
3 学期	18	・ミュージックコンサートに向け協働して取り組む。 ・音楽を通して季節の歌を知り、情趣を味わう。 ・楽器に触れ奏法を体験する。	【知識・技能】 ・曲名や曲の雰囲気と音楽との構造の関わりについて理解している。 ・歌詞やリズム、身体の使い方等を理解し歌唱表現している。 ・リズムや速度、音色を意識して演奏している。 ・音や音楽を聴いて様々な動きを組み合わせる身体表現している。 ・曲想とリズムと速度、旋律の特徴との関わりが分かる。 【思考力・判断力・表現力】 ・歌唱表現、器楽表現についての知識や技能を生かしながら、曲の雰囲気に合った表現を工夫している。 ・リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ、工夫して体を動かしている。 ・曲や演奏の良さを味わいながら聴いている。 【主体的に取り組む態度】 ・音や音楽を生活や社会に生かそうとし、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとする。	・ミュージックコンサート ・歌唱 卒業式のうた ・器楽 日本の楽器に触れてみよう 管打楽器に触れてみよう ・鑑賞 バレエ音楽「ボレロ」	・練習したことを発表する。 ・友達の演奏を聴き感じたことを発表する。 ・いろいろな楽器に触れ、工夫して演奏する。 ・曲想や歌詞の内容とのつながりについて考える。

令和8年度 美術 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒			担当者
70		3年1名			
年間目標 小3段階		(知及技)様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりすること。 (思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったこと から表したいことを思い付くこと。 (学・人)主体的に造る喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	物語を自分のイメージとして表現することができる。	【知・技】用具の使い方を理解し作品を作ることができたか。 【思・判・表】物語から好きなシーンや思ったことを絵画として表現できたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	物語を絵に	・本の内容から絵画表現を行う ・紙や描画材を使って表現する
2学期	22	粘土を使った造形をするなかで、素材の特性を理解する。	【知・技】用具の使い方を理解し作品を作ることができたか。 【思・判・表】手を動かしながら、イメージした形を表現できたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	粘土での造形	・粘土作り ・土器作り ・釉薬かけ
	8	様々な素材を組み合わせ、テーマに沿ったポスターを作る。	【知・技】用具の使い方を理解し作品を作ることができたか。 【思・判・表】手を動かしながら、イメージしたポスターを表現できたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	ポスター制作	・ポスターについて ・ポスターの制作 ・掲示
3学期	18	共同制作を通して制作する喜びを味わう。	【知・技】用具の使い方を理解し作品を作ることができたか。 【思・判・表】周りの制作にも興味を持ち、自分の制作と関連付けることができたか。 【主学】共同制作をする中で、主体的にコミュニケーションをとることができたか。	卒業式装飾	・装飾する作品の制作 ・舞台での装飾

令和8年度 保健体育 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年1名			
年間目標		(知・技)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた 行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (思・判・表)各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。 (学・人)各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	・運動の行い方が分かる。 ・考えたこと工夫したことを他者に伝えることができる。 ・きまりを守り、友達と協力することができ	【知・技】 ・運動の行い方が分かり、動きを持続することができたか。	○体づくり運動 準備体操 5分間走 体ほぐし運動 サーキット運動	・伸び伸びとした動作で用具などを用いた運動を行う。 ・教師が体の部位や力の入れ方、動作を伝え、体の動かし方を伝える。 ・動作や関わる人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動を行う。
			【思・判・表】 ・自己の考えや工夫したことを他者に伝えることができたか。		
			【主学】 ・きまりやマナーを守り、友達と協力して安全に活動に取り組むことができたか。		
		・基本的な動きや技能を身に付け、考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 ・活動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力し、場や用具の安全に留意することができる。	【知・技】 ・基本的な動きができたか。 【思・判・表】 ・改善に向けて考えたり、工夫したりすることができたか。 【主学】 ・水中でのきまり、マナーを守り、友達と協力して安全に活動に取り組むことができたか。	○水泳 準備体操 水かけ 水中を歩く もぐる 浮く けのび バタ足	・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進む。
2 学期	30	・ダンスの楽しさや喜びに触れ、音楽に合わせて楽しく踊ることができ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・考えたこと、工夫したことを発表するこ	【知・技】 ・ダンスの行い方がわかり、基本的な動きや技能を身に付けることができたか。 ・音楽に合わせて、楽しく踊ることができたか。	○ダンス ・創作ダンス ・フォークダンス ・現代的なリズムのダンス ・曲に合わせてひと流れの動きで踊る。	・緩急強弱のある動きや場面転換などで、変化をつけたひと流れの動きを行う。 ・歩く、腕を振る、跳ぶなどの動きをリズムに合わせて行う。 ・日本の民謡や外国の踊りのそれぞれの踊り方

		とができる。 ・ダンスに進んで取り組み友達と協力し、最後まで楽しく運動をすることができる。	【思・判・表】 ・課題解決に向けて考え、工夫したことを発表することができたか。		の特徴を学ぶ。 ・音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊る。
			【学・人】 ・積極的に取り組んでいるか。 ・友達と協力できたか。 ・最後まで楽しく運動ができたか。		
		・球技の行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易ゲームができる。	【知・技】 ・球技の行い方がわかり基本的な動きや技能を身に付ける。		
			【思・判・表】 ・課題解決に向けて、考え工夫することができたか。		
			【学・人】 ・仲間と協力し、きまりを守り、安全に気を付けることができたか。		
3 学 期	16	・陸上運動の基本的な動きや技能を身に付けること。 ・自分の課題を知り、考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 ・陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、安全を配り、最後まで楽しく運動をすることができる。	【知・技】 ・一定の時間や距離を決めて、走り続けることができたか。	○球技(サウンドテ-ブルテニス、グラウンドゴルフ) 基本的なボール操作(打つ、止める、押し出す) 簡易ゲーム	・ボール、ラケットやクラブの形状を確かめる。 ・ボールを転がす ・ボールを止める。 ・ボールを打つ。 ・ボールを狙った場所に打つ。 ・簡単なルールでゲームを行う。
			【思・判・表】 ・自己の意見を教師や友達に伝えることができたか。		
			【学・人】 ・最後まで粘り強く取り組むことができたか。		
			【知・技】 ・一定の時間や距離を決めて、走り続けることができたか。	○陸上運動(持久走) 持久走 5分間走 10分間走 リズム走(生徒の走りやすいテンポで)	・持続して走る ・一定のリズムに合わせて走る。 ・目標周回の設定(生徒が設定する)
			【思・判・表】 ・自己の意見を教師や友達に伝えることができたか。		
			【学・人】 ・最後まで粘り強く取り組むことができたか。		

令和8年度 職業 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年1名			
年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) より良い将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	【知及技】 働くことの目的などを理解することができる。 【思判表力】 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。 【学・人】 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	【知・技】 様々な作業を通して、働くことについて理解している。 【思・判・表】 自分の役割について考え、活動に取り組むことができる。 【主学】 様々な作業に進んで取り組み、達成感を得ることができている。	・働くことの目的 ・清掃活動 ・製品作業	・職業に関する実践的・体験的な学習活動 ・靴箱拭き、手すりふき、体育館のフロア拭き等。 ・名刺づくり (注文受付、デザイン、PC入力等)
2 学期	28	【知及技】 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付ける。 【思判表力】 ・作業や実習における役割を踏まえて自分の成長や課題について考え、表現することができる。 ・情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。 【学・人】 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	【知・技】 様々な作業に必要な知識、技能を身に付けている。 【思・判・表】 ・与えられた役割を理解している。 ・自分の成長や課題に気付くことができている。 ・情報機器を使って、発表用資料等の作成ができる。 【主学】 様々な作業に進んで取り組み、達成感を得ることができている。	・製品作業 ・販売活動 ・情報機器の活用 ・清掃活動	・道具作成。 ・ポチ袋づくり (つながっている点字本を一枚一枚切り離す。染める。折る、のり付け等) ・ペットボトルキャップリサイクル製品づくり(しおり、キーホルダー等) ・作成したものの販売。 ・販売時の役割について ・接客の方法 ・情報機器を使った販売ポスターの作成や会計の集計、発表用資料の作成等。 ・特別教室やろうかななどの場所でのほうき、モップ等。

3 学期	18	【知及技】 ・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。 ・作業の確実性、持続性、巧緻性等を身に付けることができる。 【思判表力】 ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えることができる。 ・職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。 【学・人】 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	【知・技】 ・道具や機械等の扱い方を理解している。 ・作業の確実性、持続性、巧緻性等を身に付けている。 【思・判・表】 ・安全に気を配り、効率的に作業ができる方法を考えることができた。 ・自己の余暇を充実させるための方法を考えることができた。 【主学】 様々な作業に進んで取り組み、達成感を得ることができている。	・清掃活動 ・販売商品づくり(スノーボールクッキー) ・販売活動 ・余暇の過ごし方	・ワイパーを使用しての窓ガラス拭き。 ・作成したものの販売。 ・販売時の役割について ・接客の方法 ・校外学習(余暇活動)
---------	----	---	--	--	---

令和8年度 家庭 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年1名			
年間目標		(知及技)家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	・自分の成長と家族や家庭生活の関わり、地域の人々との協力の大切さがわかる。 ・家族や地域の人とのよい関わりについて考え、工夫することができる。 ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について、考えることができる。 ・乳幼児や高齢者に興味を持つ。	【知・技】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりについて基本的な知識や技能を身に付けている。 【思・判・表】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりについて課題に気づき、解決方法を考えている。 【主学】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりをよりよいものにしていくために行動しようとしている。	○家族・家庭生活 ・自分の成長と家族 ・家庭生活での役割と地域との関わり ・家庭生活における健康管理と余暇 ・乳幼児の生活 ・高齢者の生活	・どんな人たちに支えられて人生を歩んできたのか、今までの自分を振り返る。 ・家庭生活が家族の協力によって成り立っていることに気づかせ、家庭生活上で自分が果たす役割について考える。 ・食事や睡眠と健康の関係についてデータ等をもとに知らせ、さまざまな余暇の過ごし方を体験する。 ・身近な乳幼児や高齢者を思い出させ、どのように適切な関わり方を考える。
2 学期	28	・自分に必要な栄養素の種類と働きがわかる。 ・基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・食品や調理用具を安全と衛生に留意して、使用することができる。 ・被服の材料や状態に応じて、日常着を適切に手入れすることができる。 ・布を用いた簡単な小物の製作をすることができる。	【知・技】 食生活や衣生活についての基本的な知識や技能を身に付けている。 【思・判・表】 食生活や衣生活についての課題に気づき、解決方法を考えている。 【主学】 食生活や衣生活をよりよいものにしていくために行動しようとしている。	○衣食住の生活 ・必要な栄養を満たす食事 ・日常食の調理 ・衣服の手入れ ・布を用いた製作	・生活の中で食事が果たす役割を考え、身近な食材を五大栄養素別に分類する。 ・いろいろな食材を触り、用途に応じた選び方を体験する。 ・電子レンジやケトルを使った簡単な調理実習を行う。 ・いろいろな種類の服を用意し、テーマに応じて、組み合わせを考える。 ・汚れの種類に応じた洗剤の選び方や手入れ・保管方法を体験する。 ・手縫いやミシン縫いで簡単な被服実習を行う。
3 学期	18	・住居の基本的な機能を理解し、住空間の安全や快適さについて考えることができる。 ・購入・支払い方法の種類や特徴を知り、生活に活かすことができる。 ・消費生活が環境や社会に及ぼす影響を考えることができる。	【知・技】 住生活や消費生活についての基本的な知識や技能を身に付けている。 【思・判・表】 住生活や消費生活についての課題に気づき、解決方法を考えている。 【主学】 住生活や消費生活をよりよいものにしていくために行動しようとしている。	○衣食住の生活 ・住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方 ○消費生活・環境 ・消費生活 ・消費者の基本的な権利と責任	・家族の生活と住空間との関わりを知り、快適で安定した住空間について考える。 ・自分の生活の振り返り、出入りしているお金にはどのようなものがあるかを考える。 ・学校周辺のスーパーに足を運び、セルフレジや電子マネーの使い方等、いろいろな方法で買い物を行う。

令和8年度 外国語 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年1名			
年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	【知及技】英語の基本的な表現に慣れ親しむ。 【思判表力】英語で挨拶ができる。 【学・人】英語でコミュニケーションを図ることができる。	【知・技】英語の基本的な表現に慣れ親しんでいる。 【思・判・表】英語で挨拶をしている。 【主学】英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	・ Hello, Good-bye ・ Thank you, I'm sorry ・ Please～	・ 基本的な挨拶を覚える。 ・ お礼の言い方や謝り方を身につける。 ・ 依頼する。
2学期	28	【知及技】英語の様々な表現に慣れ親しむ。 【思判表力】身近な物事を英語で表現できる。自分の好きなことを英語で表現できる。 【学・人】英語でコミュニケーションを図ることができる。	【知・技】英語の様々な表現に慣れ親しんでいる。 【思・判・表】身近な物事を英語で表現しようとしている。知っている単語や表現を用いて、自分の好きなことを英語で表現しようとしている。 【主学】相槌を打つ、知っている単語を用いるなどして英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	・ Sunday, Monday… ・ January, February… ・ sunny, cloudy, … ・ one, two, three… ・ big, small… ・ I like～ ・ I don't like～	・ 曜日の言い方を覚える。 ・ 1月から12月の言い方を覚える。誕生日の言い方を覚える。 ・ 天気の違い方を覚える。 ・ 数を表現する。 ・ 大きさや形を表現する。 ・ 好きなものや苦手なものを伝える。
3学期	18	【知及技】英語の様々な表現が示す内容を知り、それらを使うことができる。 【思判表力】自分の気持ちを表現できる。 【学・人】相手に配慮しながら英語でコミュニケーションを図ることができる。	【知・技】英語の様々な表現が示す内容を知り、それらを使っている。 【思・判・表】自分の気持ちを表現しようとしている。 【主学】相手に配慮しながら積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	・ I'm happy, I'm tired. ・ I want to～, I don't want to～	・ 自分の気持ちや状態を表現する。 ・ 自分のやりたいこと、やりたくないことを伝える。

令和8年度 情報 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		3年1名			
年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
I 学期	24	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。 (学・人) ・身近にある情報や情報技	(知・技) ・メディアリテラシーについて考えている。 ・PCの簡単な操作(電源のオンオフ、キーボード、マウスの操作)をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 (思・判・表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。 (主学) ・情報モラルについての理解を深め「相手の気持ちを	情報とメディア ・情報とメディアという言葉について考えよう。 情報の偏りと評価 ・匿名性・信憑性 ・マスメディア ・メディアの利用 情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ(誹謗中傷) ・個人情報 ・ネット依存	・情報とメディアという言葉について考える。 ・情報の偏りと評価(情報操作、信憑性)についてデマメール等の事例を活用し学習する。 ・メディアリテラシー(情報の信憑性や価値を正確に判断できる能力)について考える。 ・PCの基本的な操作を学ぶ。(電源のオンオフ、各種アプリの操作) ・検索エンジンの利 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される(簡単に消すことはできない)。 ・SNSトラブル事例(動画)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報(住所、氏名、電話番号、写真…)個人を特

		術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。	考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング		定できる ものすべてが個人情報であることを理解する。
2 学 期	28	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができる。 (思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。	(知・技) ・匿名性、記録性の意味を理解している。 ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解している。 (思・判・表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解している。 (主学) ・情報を加工し発信する方法が分かり、意見を交換し作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	・インターネットの匿名性 ・会員カードやポイントカードの個人情報 ・ネットワークで広がる世界 ・情報共有サイト(SNS、動画共有サイト等)	・CMC では個人を特定する情報を隠すことが可能 …匿名性、しかし利用者は匿名のつもりでも情報発信は記録が残る。プロバイダ責任制限法(誹謗中傷や著作権侵害等の被害があればプロバイダに発信者の開示を請求できる。) ・かつては不特定多数の人々に対して個人が情報を発信する手段は限られていたが、今日では比較的簡単に、費用もほとんどかからない。ソーシャルメディアの利用で情報発信の形が変化している。 ・コンピュータグラフィックス、バーチャリアリティを活用した産業分野、学術分野の発展。 ・正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。

3 学 期	18	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。 (思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。 (学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 ※活動の様子で評価。 (思・判・表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。 (主学) ・「相手の気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	情報とメディア ・メディアの利用 情報モラル ・個人情報 3 ・ネット依存 3	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。
-------------	----	--	--	--	---

令和8年度 道徳科 II 課程A 年間指導計画

配当時数	生徒	担当者
35	3 学年 1 名	

年間目標		・人との関わりの中で、道徳的な価値に気づいたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 ・他人を思いやり、励まし合うとともに、互いの理解を深め、協力し合う心を育てる。 ・個性を生かし 社会の形成に参画する意欲や態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。 ・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。	・時と場合に応じた挨拶がどのような挨拶か考えている。	・新学期を迎えて	・時と場に応じた適切な挨拶や言葉遣い、態度について学習する。 ・学級内での個々の役割を決める。
	2	・自分の意見・考えを発表し、他人の話を聞くことができる。	・学級内で協力するにあたって、自分の意見を持ち、発表しようとしたり、他人の話に耳を傾けたりしている。	・大切な仲間	・学級で協力し合う事柄について話し合う。
	2	・仲間を大切にし、学ぶ姿勢を身につける。 ・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。	・仲間を大切にする姿勢を身につけようとしている。 ・学級での自分の役割を把握し、それらに主体的に取り組もうとしている。	・自己の役割と他者との協力	・計画を立てて行動する習慣について話し合う。
	2	・日頃の生活を通して家族への感謝の心をもつ。	・日頃の生活を振り返って、家族への感謝の気持ちを言葉にしている。	・思いやりと感謝の心	・家族に対して思いやりと感謝の気持ちを持ち、カードなどで感謝のメッセージを書く。
	2	・時間の大切さを知り、時間の見直しをもって行動できる。	・時間の大切さについて考えている。	・時間の大切さ	・時間を効率的に使うことの大切さについて話し合う。
	1	・過去・現在から戦争の悲惨さを知り、平和を望む心をもつ。	・沖縄戦の学習に取り組み、戦争の悲惨さについて自分の考えを持っている。	・平和講話	・沖縄戦について学習する。
	1	・自分の夏休みの生活に関心をもつ。	・自分の夏休みの計画を考えている。	・夏休みを前に	・夏休みの過ごし方について、個々の計画を語る。

2 学 期	4	・お互いの個性を認めることを知る。 ・高齢者や目上の人たちへの尊敬の意をもつ。	・相手の長所を見つけお互いの個性を認めようとしている。	・人権とは何か	・相手の長所をみつけながら関わることを学習する。 ・新聞などの記事を読んで考える。
	4	・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。	・学級の一員として、自己の役割を果たすためにすべきことを知ろうとしている。	・自己の役割と他者との協力	・各自のやるべき事を意識し、自ら行動できる。
	4	・働くことの大切さを知る。	・身近な家族に働くことのインタビューをして、働くことの大切さを言葉にしている。	・勤労の喜びと感謝の心	・働く人々にインタビューし、働くことの大切さや難しさを知る。
	3	・健康な心と体について考え、リラックスできる時間をつくることの大切さを知る。	・健康な心と体について考え、リラックスできる時間を見つけようとしている。	・生命の尊さを知ろう	・高校生として必要な心と体の健康に関する知識。ストレス解消法などを知る。 ・バランスのとれた食生活について学習する。栄養などについて考える。
3 学 期	3	・自分と関わる周辺の人たちについて語る。	・自分とかかわる人々を通して、自分自身が社会でできることを考えている。	・自己を見つめて	・自ら積極的に社会参加するために、自分に関わる。周辺の人たちの働きを知る。
	3	・心のこもった対応の大切さを知り、誰に対しても心を込めて接する態度を養う。	・心のこもった対応の大切さを知り、積極的に挨拶をしようとしている。	・礼儀正しさについて	・あいさつや接客についての学習をする。
	2	・一年間を振り返って自己の成長を知る。	・一年間の自分の成長を言葉にしている。	・自己の成長	・4月の自分と今の自分を比較し、成長を感じる。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 総合的な探究の時間 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
35		3年1名			
年間目標		探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、資質・能力を育成する。 (知及技) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気づく。 (思判表力) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことの根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。 (学・人) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 3学期	35	【知及技】 ・働くことの目的などを理解することができる。 ・課題解決に必要な知識、技能を身につけることができる。 【思判表力】 課題解決に向けて、調べて得た情報をもとに、仮説を立てたり、考えたりする力を身につけることができる。 【学・人】 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に、意欲的に取り組むことができる。	【知・技】 ・日々学習していることと今の生活やこれからの生活につながっていることを理解できる。 ・課題解決に必要な知識、技能を身につけることができる。 【思・判・表】 自己の課題を見つけ、解決方法を考えて追求することができる。 目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めることができる。 【主学】 課題の解決に向けて目的意識を持ち、身近な人と力を合わせて探究活動に意欲的に取り組もうとする。 自分のよさや自分にできることに気づくとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気づき相手の立場を理解しようとする。	①職業や自己の進路に関する課題 ②地域や学校の特色に応じた課題	・働くために必要なこと ・自分の得意なこと、苦手なこと ・自分のことを相手に伝えよう ・職場で困ったときにどうするか ・身だしなみ ・TPOに応じた服装 ・気持ちのよいあいさつ ・言葉遣い、敬語の種類と使い方 ・よい人間関係とは ・仕事がうまくいっている人の特徴 ・家族の仕事・身近な人の仕事 ・インタビュー ・生徒の住む地域について ・地域と学校との関わりについて ・インタビュー ・体験的な活動

令和8年度 LHR II課程A 年間指導計画

配当時数		生徒			担当者
35		3年 1名			
年間目標		(知及技)学級で決められた役割を理解し、責任をもって行動することができる。 (思判表力) 学校生活をよりよく過ごすための課題解決に向けて、話し合いをすることができる。 (学・人)学級活動や行事へ主体的に参加し、学び得たことを今後の生活に活かすことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・新しい学級に慣れる。 ・個人目標を決める。 ・学級での自分の役割を確認する。 ・遠足について振り返る。 ・平和について考える。 ・実習先や就業体験の目的を確認する。 ・1学期の振り返りを行う。	【知・技】 ・あいさつや返事ができる。 ・人の話を静かに聞くことができる。 ・教室をきれいに清掃することができる。 【思・判・表】 ・各行事の目的や内容を確認できる。	・学級開き ・1学期個人学級目標決め ・学級係活動 ・春の遠足事後学習 ・平和学習 ・就業体験事前・事後学習 ・1学期を振り返って	・挨拶や自己紹介など ・個人目標、学級目標を話し合って決め、掲示物作成を行う。 ・遠足の感想文を発表する。 ・平和学習で学んだことを振り返る。 ・キャリアパスポートを使って、実習の振り返りをする。 ・1学期を振り返りながら、楽しかったことや学んだことを発表する。
2学期	14	・見通しを持って2学期をスタートする。 ・学校行事に向けて、意欲的に活動をする。 ・自分の進路について考える。 ・2学期の振り返りを行う。	・安全に気をつけて、活動できる。 ・積極的に自分の考えを発表できる。 【主学】 ・主体的に授業に参加できる。	・2学期の活動計画、個人目標決め ・学校行事 ・進路学習 ・2学期を振り返って	・2学期の行事を確認する。 ・学校行事に向けて、練習や準備を行う。 ・進路講話の振り返りを行う。 ・2学期を振り返り、発表する。
3学期	9	・見通しを持って3学期をスタートする。 ・過去の活動を振り返り、1年間を振り返る。 ・進級後や卒業後の目標を考える。	・仲間と協力して活動できる。	・3学期の活動計画、個人目標決め ・進級・卒業に向けて	・3学期の行事を確認する。 ・1年間の振り返りを行う。 ・今年度の反省と進級に向けての抱負を発表する。
随時		・学級の清掃を行う。		・清掃	・分担して清掃する。

令和8年度 国語科 II 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		1年2名			
年間目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を育成することを目指す。 (知及技)日常生活に必要な国語について、その特質を知り使うことができるようにする。 (思判表力)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。 (学・人)言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1・2学期	52	身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくこと。	【知識・技能】日常生活に必要な身近な言葉が分かり行動することができる。【思考力・判断力・表現力等】対象物に注意を向け、対象物の存在に着目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 【主体的に取り組む態度】言葉で表すことのよさを感じ、言葉を使おうとする態度を表すことができる。	自己紹介 絵本読み聞かせ（季節、行事等） 沖縄のことは ものの名前 弁論大会に向けて	自己紹介をする。 季節の絵本や行事から関係する言葉を学習する。 短い文章を暗証する。 沖縄の言葉について学習する。 ものの名前、場所、活動を表す言葉を学習する。
3学期	18	身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくこと。	【知識・技能】日常生活に必要な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉に触れ親しむことができる。 【思考力・判断力・表現力等】言葉が表す事柄を想起したり、受け止める力を養い、人との関わりの中で自分の思いを伝えようとするすることができる。 【主体的に取り組む態度】教師の話しかけに表情や身振りで反応することができる。	絵本読み聞かせ（季節、行事等） 沖縄のことは ものの名前 場所、行動を表す言葉	季節の絵本や行事から関係する言葉を学習する。 沖縄の言葉について学習する。 ものの名前、場所、活動を表す言葉を学習する。

令和8年度 社会 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		1年2名			
年間目標		(知及技)活動や体験の過程において自分自身や身近な人々、社会のよさに気づくとともに生活に必要な習慣や技能を身につける。 (思判表力)生活面など学んだこと自身で表現することができる。 (学・人)自分の事に取り組んだり、身近な人々に働きかけ、意欲をもって学んだりすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	・必要な身辺処理がわかり身近な生活に役立てようとする。こと。(知及技) ・身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身につける。(思判表) ・自分の事に取り組みながら、身近な人々にも働きかけ、意欲をもって学ぶことができる。(学・人)	・必要な身辺処理がわかり身近な生活に役立てようとする。ことができた。(知及技) ・身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身につけることができた。(思判表) ・自分の事に取り組みながら、身近な人々にも働きかけ、意欲をもって学ぶことができた。(学・人)	自分のことは自分でやろう！	・教師の言葉かけにより自分でやるべきことを意識して、見通しを持って身辺処理（トイレ、手すり歩き、カバンの開け閉めなど）を行う。触ること、教師の言葉を聞くことから活動を自分事として受け止めるような活動を行う。
2学期	28	・身近な日課や予定がわかり教師の援助を求めながら日課に沿って行動しようとする。こと。(知及技) ・身近な日課や予定について知る。(思判表) ・自分の事に取り組みながら、身近な人々にも働きかけ、意欲をもって学ぶことができる。(学・人)	・身近な日課や予定がわかり教師の援助を求めながら日課に沿って行動できた。(知及技) ・身近な日課や予定について知ることができた。(思判表) ・自分の事に取り組みながら、身近な人々にも働きかけ、意欲をもって学ぶことができた。(学・人)	わくわく！ 今から何する？	・教師の言葉かけやクラスでの教師の話から、午前中の流れや一日の流れの具体物を触りながら確認する。 ・未来を予想しながら行動するような活動を行う。
3学期	18	・身近な人を知り教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする。こと。(知及技) ・身近な人との接し方などについて知ること。(思判表) ・身近な人々に働きかけ、意欲をもって学ぶことができる。(学・人)	・身近な人を知り教師の援助を求めながら挨拶や話などができた。(知及技) ・身近な人との接し方などについて知ることができた。(思判表) ・身近な人々に働きかけ、意欲をもって学ぶことができた。(学・人)	この人だれだ？話しかけてみよう！	・校内のいろんな場所に行き、教師の支援をうけながら色々な人と話を行う。 ・触ること、教師の言葉を聞くこと、未来を予想することなどこれまで学習してきたことを活かしながら活動を行う。

令和8年度 数学 II 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		1年2名			
年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元名	単元の目標	単元の活動内容	単元の評価規準
1学期	24	数と計算	・100までの数の概念や表し方について理解し、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにする。 ・日常の事象について、ものの数に着目し、具体物を用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現することができる。	・100までの整数の表し方 ・整数の加法及び減法	【知・技】 ○100までの数の概念や表し方について理解し、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができている。 【思・判・表】 ○日常の事象について、ものの数に着目し、具体物を用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現することができる。 【主学】 ○関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。
2学期	28	図形	・身の回りのものの形の観察を通して、図形についての感覚を豊かにし、その形の合同、移動、位置及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することができる。 ・身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形やものの位置、特徴等について具体的に操作をして考えることができる。	・身の回りにあるものの形 ・角の大きさ	【知・技】 ○身の回りのものの形の観察を通して、図形についての感覚を豊かにし、その形の合同、移動、位置及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することができる。 【思・判・表】 ○身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形やものの位置、特徴等について具体的に操作をして考えることができる。 【主学】 ○関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。
3学期	18	測定	・身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。	・身の回りのものの量の単位と測定 ・時刻や時間	【知・技】 ○身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けている。 【思・判・表】 ○身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする。

		・身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりすることができる。		ることができている。 【主学】 ○関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。
--	--	--	--	--

令和8年度 理科 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		1年2名			
年間目標		(知及技) 自分自身、身近人々、社会・自然に関心を持つことができる。 (思判表力) 身の回りの様子に気づき、感じたことを伝えることができる。 (学・人) 自然を愛する心情を養い、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 身近なものや道具、自然に興味をもって関わる。 (思判表力) 自然に触れて、その美しさや不思議さなどに気付く。自分の思ったことを伝える。 (学・人) 感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。	(知・技) 活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。 (思・判・表) 活動に対して、自分の考えや動作で反応している。 (主・学) 活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。	・天体に関する絵本 ・校庭散策 ・生物分類を知る。 ・植物を育てる ・天候 ・方角	・生き物カードを活用し、生物の分類に親しむ。 ・校庭での自然体験、太陽の位置確認、植物栽培を通して、方角・気温・天気など季節の変化に気付く。
2学期	28	(知及技) 身の回りの生命や自然、ものの仕組みを感じ、状況の変化に関心を持つ。 (思判表力) 身の回りの生命や自然、ものについて気づき伝えようとする。 (学・人) 感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。	(知・技) 活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。 (思・判・表) 活動に対して、自分の考えや動作で反応している。 (主・学) 活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。	・天候に関する絵本 ・方角 ・温度変化と反応速度 ・くだもの電池と音について	・温度の異なる物質(お湯・水・氷)に触れ、反応速度の違いから温度と変化の関係を体感する。 ・素材の異なる物質(ポリカ・水・各種ジュース・牛乳)によって、電子オルゴールの音の変化の関係を体感する。 ・太陽の位置確認、植物栽培を通して、方角・気温・天気など季節の変化に気付く。
3学期	18	(知及技) 身の回りの生命や自然、ものの仕組みを感じ、状況の変化に関心を持つ。 (思判表力) 身の回りの生命や自然、ものについて気づき伝えようとする。	(知・技) 活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。 (思・判・表) 活動に対して、自分の考えや動作で反応している。	・校庭散策 ・天候 ・ヒトのからだに関する絵本	・生き物カードを活用し、生物の分類に親しむ。 ・校庭での自然体験、太陽の位置確認、植物栽培を通して、方角・気温・天気など季節の変化に気付く。 ・自分の身体、他の身体

		(学・人)感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。	(主・学)活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。		に関する活動をする(触る、動かす、音を聞く等)。からだの内臓の働きについて学習する。
--	--	-------------------------------	----------------------------------	--	--

令和8年度 音楽 II 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
105		1年2名			
年間目標		(知及技)様々な音楽活動を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)音楽のよさや美しさを自分なりに感じ、音楽を味わって聴くことができるようにする。 (学・人)音楽活動の楽しさを体験し、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	・伴奏に合わせて発声することができる。 ・フレーズごとに歌詞を覚え歌うことができる。 ・いろいろな楽器に親しむ。 ・音楽に合わせて演奏することができる。 ・教師と一緒に楽しく身体表現ができる。	【知識・技能】 ・音や音楽を感じて声や楽器の音を出したり、体を動かしたりすることができる。 ・範唱や範奏を聴いて、曲の一部分を歌や楽器で演奏することができる。 ・身近な人の演奏を見たり聴いたりしながら、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 ・身近な打楽器などに親しみ音を出そうとすることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・音や音楽に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組むことができる。	・歌唱 あくびの歌 校歌 浜辺の歌 月桃 さとうきび畑 他 ・器楽 手拍子リレー きらきら星 変奏曲 パッヘルベルのカノン 他 ・身体表現 ボディパーカッション ・鑑賞	・口形や呼吸、姿勢を確認しながら正しい発声で歌う。 ・歌詞の内容や曲の雰囲気との関連について気付いたことを発表する。 ・いろいろな楽器の演奏を体験し、得意な楽器を見つける。 ・いろいろなリズムや速度で演奏する。 ・範唱、範奏を聴き練習する。 ・曲を聴いて感じたことを発表する。
2学期	45	・郷土の音楽や様々なジャンルの音楽に親しむ。 フレーズごとに歌詞を覚え歌うことができる。 ・いろいろな楽器の奏法を経験する。 ・担当する楽器を意識し、協働して合奏することができる。 ・音楽を聞きながら友達や教師との触れ合いを楽しむ。	【知識・技能】 ・音や音楽を感じて声や楽器の音を出したり、体を動かしたりすることができる。 ・範唱や範奏を聴いて、曲の一部分を歌や楽器で演奏することができる。 ・楽器の音色の違い、リズム、速度や強弱の違いに気付き演奏することができる。 ・身近な人の演奏を見たり聴いたりしながら、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。	・歌唱 夏の思い出 エーデルワイス アメイジング・グレイス 他 ・器楽 カルメン前奏曲 ラデッキー行進曲 他 ・身体表現 リトミック ・鑑賞	・伴奏の雰囲気に合った発声で歌う。 ・音程や歌詞の情景をイメージしながら歌う。 ・いろいろな楽器の奏法を体験する。 ・強弱を意識し、いろいろなリズムや速度で演奏する。 ・友達と音を合わせて演奏する。 ・範唱、範奏を聴き練習する。

			る。 ・身近な楽器などに親しみ音を出そうとすることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・音や音楽に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組むことができる。		・曲を聴いて感じたことを発表する。
3 学 期	24	・ミュージックコンサートに向け協働して取り組む。 ・音楽を通して季節の歌を知り、情趣を味わう。 ・楽器に触れ奏法を体験する。	【知識・技能】 ・音や音楽を感じて声や楽器の音を出したり、体を動かしたりすることができる。 ・範唱や範奏を聴いて、曲の一部分を歌や楽器で演奏することができる。 ・楽器の音色の違い、リズム、速度や強弱の違いに気付き演奏することができる。 ・身近な人の演奏を見たり聴いたりしながら、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 ・身近な楽器などに親しみ音を出そうとすることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・音や音楽に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組むことができる。	・ミュージックコンサート ・歌唱 - 卒業式のうた ・器楽 - 日本の楽器に触れてみよう - 管 打 楽 器 に触れてみよう ・鑑賞	・練習したことを発表する。 ・友達の演奏を聴き感じたことを発表する。 ・いろいろな楽器に触れ、工夫して演奏する。 ・曲想や歌詞の内容とのつながりについて考える。

令和8年度 美術 II課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒			担当者
105		1年2名			
年間目標 小 2段階		(知及技)さまざまな素材に触れて、特性や変化を理解する。 (思判表力)握る、ならべる、など造形の基礎的な活動の中で表現する。 (学・人)自分から素材に触れるなど、主体的に活動に取り組むことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	形や匂いの違いに気づき興味を持つ	【知・技】植物によっての匂いの違いに気づく。 【思・判・表】違いを言葉で表現することができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	香りと感触	・草花の匂いを嗅ぐ ・触ったり嗅いだりしながら違いを楽しむ
2学期	22	粘土を使った造形をするなかで、素材と関わる。	【知・技】土や粘土に触れて素材を理解できたか。 【思・判・表】土を使って、造形物を作ることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	粘土での造形	・泥に触れる ・粘土作り ・土器作り
	8	様々な素材を組み合わせ、ポスターを作る	【知・技】様々なものに触れ、違いを理解できたか。 【思・判・表】好きな素材を選択し、ポスターを作ることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	ポスター制作	・いろいろな素材に触れる ・ポスターの制作 ・掲示
3学期	18	コミュニケーションをしながら表現活動を行う。	【知・技】みんなで制作することを理解して取り組むことができたか。 【思・判・表】周りの制作にも興味を持ち、自分の制作と関連付けることができたか。 【主学】共同制作をする中で、主体的にコミュニケーションをとることができたか。	卒業式装飾	・共同で作品を作っていく ・舞台への装飾

令和8年度 保健体育 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
105		1年2名			
年間目標		(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 (思・判・表) 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
I 学期	36	○体づくり運動 ・教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動ができる ・体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・簡単な合図や指示に従って、楽しく基本的な体づくり運動をしようとする。	【知・技】 ・各種の運動の楽しさを感じることができたか。また、簡単な動きができたか。 【思・判・表】 ・自己の気持ちを合図や反応などで他者に伝えることができたか。 【主学】 ・合図や言葉かけに応じて、基本的な体づくり運動をすることができたか。	ラジオ体操(準備体操) 5分間走×2 体ほぐし運動 (ボディーイメージ)	・伸び伸びとした動作で用具などを用いた運動を行う ・教師が体の部位や力の入れ方、動作を伝え、体の動かし方を伝える。 ・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動を行う。
		○水泳 ・教師の支援を受けながら、楽しく水の中で運動し、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・簡単な合図や指示に従って、水のなかでの基本的な運動ができる。	【知・技】 ・楽しく水の中で基本的な運動ができたか。 【思・判・表】 ・水泳の楽しさや感じたことを表現することができたか。 【主学】 ・簡単な指示や合図を聞き安全に水の中での運動ができたか。	準備体操 水かけ 水中を歩く もぐる 浮く	・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進む。

2 学期	42	○ダンス ・ダンスの楽しさや喜びに触れ、音楽に合わせて楽しく踊ることができ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。 ○球技 ・教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った運動やゲームができ、その楽しさを表現することができる。 ・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。	【知・技】 ・音楽に合わせて、楽しく踊ることができたか。 【思・判・表】 ・楽しみ方を工夫し、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・きまりを守ることができたか。 ・仲間と協力して安全に活動することができたか。 【知・技】 ・基本的な動きを身に付けることができたか。 ・楽しくボールを使った運動やゲームをすることができたか。 【思・判・表】 ・運動やゲームに慣れ、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・きまりを守ることができたか。 ・安全に気を付けることができたか。	・創作ダンス ・フォークダンス 基本的なボール操作(さまざまな道具を使う) 簡易ゲーム	・緩急強弱のある動きや場面転換などで、変化をつけたひと流れの動きを行う ・歩く、腕を振る、跳ぶなどの動きをリズムに合わせて行う。 ・日本の民謡や外国の踊りのそれぞれの踊り方の特徴を学ぶ。 ・音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊る。 ・ボールや道具(ラケット、バッド、クラブなど)の形状を確かめる。 ・ボールを転がす ・ボールを手で止める。 ・仲間とキャッチボール ・ボールを投げる。 ・ボールを打つ。 ・簡単なルールでゲームを行う。
3 学期	27	○球技(ビーンボウリング) ・教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った運動やゲームができ、その楽しさを表現することができる。 ・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。	【知・技】 ・楽しくボールを使った運動やゲームをすることができたか。 【思・判・表】 ・運動やゲームに慣れ、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・きまりを守ることができたか。 ・安全に気を付けることができたか。	基本的な用具操作 操作方法 簡易ゲーム	・レール、ピンセット、ボールの形状を確かめる。 ・ピンセットの使い方を知る。 ・ボールを転がすタイミングを知る。 ・簡単なルールでゲームを行う。

令和8年度 職業 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		1年2名			
年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について知るとともに、職業生活に係る技能を身に付ける。 (思判表力) 職業に必要な事柄に触れ、自己の気持ちや学習したことを伝えることができる。 (学・人) 仲間と協力して作業や実習等で達成感を得ること。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	【知及技】 作業を通して、道具の使い方や作業動作を知る。 【思判表力】 作業に当たり安全について気付くことができる。感じたことを表現することができる。 【学・人】 仲間と協力して活動に取り組み、達成感を得る。	【知・技】 道具の使い方がわかる。作業動作がわかる。 【思・判・表】 好き、苦手などの表現ができる。教師の言葉かけに応じて、力の調整や危険回避ができる。 【主学】 仲間と協力して働くことの喜びを知ろうとしている。	・清掃活動 ・運搬活動 ・生産活動（ぼち袋作り等）（新聞折り）	・ゴミの日カレンダー作り、ゴミ回収 ・手すり拭きや机拭き等 ・ポチ袋づくり ・プラ板作り
2学期	32	【知及技】 作業を通して、道具の使い方や作業動作を知る。 【思判表力】 作業に当たり安全について気付くことができる。感じたことを表現することができる。 【学・人】 仲間と協力して働くことができる。	【知・技】 道具の使い方がわかる。作業動作がわかる。 【思・判・表】 好き、苦手などの表現ができる。教師の言葉かけに応じて、力の調整や危険回避ができる。 【主学】 仲間と協力して働くことの喜びを知ろうとしている。	・清掃活動 ・運搬活動 ・生産活動（ぼち袋作り等）（新聞折り） ・畑作業	・ゴミ回収 ・手すり拭きや机拭き等 ・新聞折り ・ポチ袋づくり ・収穫、脱穀
3学期	14	【知及技】 作業を通して、道具の使い方や作業動作を知る。 【思判表力】 作業に当たり安全について気付くことができる。感じたことを表現することができる。 【学・人】 仲間と協力して働くことの喜びを得る。	【知・技】 作業を通して、働くことを知る。 【思・判・表】 好き、苦手などの表現ができる。教師の言葉かけに応じて、力の調整や危険回避ができる。 【主学】 仲間と協力して働くことの喜びを知ろうとしている。	・ゴミ回収 ・運搬活動 ・清掃活動 ・生産活動（ぼち袋作り等）（新聞折り）	・ゴミ回収 ・手すり拭きや机拭き等 ・新聞折り ・ポチ袋づくり ・プラ板作り ・作成したものや収穫した野菜の販売。

令和8年度 家庭 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		1 年 2 名			
年間目標		(知及技)家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	・自分の成長と家族や家庭生活の関わり、地域の人々との協力の大切さがわかる。 ・家族や地域の人とのよい関わりについて考え、工夫することができる。 ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について、考えることができる。 ・乳幼児や高齢者に興味を持つ。	【知・技】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりについて基本的な知識や技能を身に付けている。 【思・判・表】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりについて課題に気づき、解決方法を考えている。 【主学】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりをよりよいものにしていくために行動しようとしている。	○家族・家庭生活 ・自分の成長と家族・家庭生活での役割と地域との関わり ・家庭生活における健康管理と余暇 ・乳幼児の生活 ・幼児のおやつ作り ・高齢者の生活	・どんな人たちに支えられて人生を歩んできたのか、今までの自分を振り返る。 ・家庭生活が家族の協力によって成り立っていることに気づかせ、家庭生活で自分が果たす役割について考える。 ・食事や睡眠と健康の関係についてデータ等をもとに知らせ、さまざまな余暇の過ごし方を体験する。 ・身近な乳幼児や高齢者を思い出させ、どのように適切な関わり方を考える。
2 学期	28	・自分に必要な栄養素の種類と働きがわかる。 ・基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・食品や調理用具を安全と衛生に留意して、使用することができる。 ・被服の材料や状態に応じて、日常着を適切に手入れすることができる。	【知・技】 食生活や衣生活についての基本的な知識や技能を身に付けている。 【思・判・表】 食生活や衣生活についての課題に気づき、解決方法を考えている。 【主学】 食生活や衣生活をよりよいものにしていくために行動しようとしている。	○衣食住の生活 ・必要な栄養を満たす食事 ・日常食の調理 ・衣服の手入れ ・気温に応じた服の選び方	・生活の中で食事が果たす役割を考え、身近な食材を三つの食品グループに分類する。 ・いろいろな食材を触り、用途に応じた選び方を体験する。 ・電子レンジやケトルを使った簡単な調理実習を行う。 ・いろいろな種類の服を用意し、テーマに応じて、組み合わせを考える。 ・汚れの種類に応じた洗剤の選び方や手入れ・保管方法を体験する。
3 学期	18	・住居の基本的な機能を理解し、住空間の安全や快適さについて考えることができる。 ・購入・支払い方法の種類や特徴を知り、生活に活かすことができる。 ・消費生活が環境や社会に及ぼす影響を考慮することができる。	【知・技】 住生活や消費生活についての基本的な知識や技能を身に付けている。 【思・判・表】 住生活や消費生活についての課題に気づき、解決方法を考えている。 【主学】 住生活や消費生活をよりよいものにしていくために行動しようとしている。	○衣食住の生活 ・住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方 ○消費生活・環境 ・消費生活 ・消費者の基本的な権利と責任	・家族の生活と住空間との関わりを知り、快適で安定した住空間について考える。 ・自分の生活の振り返り、出入りしているお金にはどのようなものがあるかを考える。 ・模擬店を準備し、買い物の場面を設定して、自分で商品を選択して買い物を体験する。

令和8年度 外国語 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		1 年 2 名			
年間目標		(知及技)外国語を用いた体験的な活動を通して、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れる。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、コミュニケーションを図ることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	【知及技】英語の基本的な表現に慣れ親しむ。 【思判表力】英語での挨拶に身振りや発声などで応えることができる。 【学・人】自分なりの方法で、コミュニケーションを図ることができる。	【知・技】英語の歌や身近な単語などに慣れ親しんでいる。 【思・判・表】英語での挨拶に身振りや発声など自分なりの方法で応えている。 【主学】身振りや発声を通してコミュニケーションを図ろうとしている。	・英語の歌 ・ Hello, Good bye ・ Thank you, I'm sorry	・英語の歌を聞く。 ・身近な単語や基本的な表現を知る。 ・教師や友達と挨拶する。 ・英語の歌を聞く。
2 学期	14	【知及技】英語の様々な表現に慣れ親しむ。 【思判表力】教師と一緒に、好きなものを英語で表現する。 【学・人】英語でコミュニケーションを図ることができる。	【知・技】英語の様々な表現に慣れ親しんでいる。 【思・判・表】教師と一緒に、身振りなどを交えて好きなことを表現している。 【主学】相槌を打つ、ジェスチャーをするなどして英語でのコミュニケーションを図ろうとしている。	・Sunday, Monday... ・January, February... ・sunny, cloudy,... ・one, two, three... ・big, small... ・I like~ I don't like~	・曜日の表現、歌。 ・1 月から 12 月の表現、歌。 ・天気の表現、歌。 ・数の表現、歌。 ・大きさや形の表現、歌。 ・好きなものや苦手なものの表現。
3 学期	9	【知及技】英語の様々な表現が示す内容に慣れ親しむ。 【思判表力】自分の気持ちを、身振りなどを交えながら表現できる。 【学・人】自分なりの方法でコミュニケーションを図ることができる。	【知・技】英語の様々な表現が示す内容を聞く。 【思・判・表】教師と一緒に、身振りや発声を交えながら自分の気持ちを表現しようとしている。 【主学】身振りや発声を交えて、英語でのコミュニケーションを図ろうとしている。	・I'm happy, I'm tired. ・I want to~, I don't want to~	・教師と一緒に、自分の気持ちや状態を表現する。 ・教師と一緒に、身振りや発声を交えながら自分のやりたいこと、やりたくないことを伝える。

令和8年度 情報 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
35		1年2名			
年間目標		(知及技) 情報機器の活用について関心を持ち、将来の生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 将来の生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を身に付けることができる。 (学・人) 将来の生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) ・コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作方法を知ることができる。 (思判表力) ・コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者へ伝えることができる。 (学・人) ・将来の生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) ・コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表) ・コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者へ伝えようとしている。 (主学) ・将来の生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を身に付けようとしている。	・iPad を使うときの約束 ・アプリの活用 ・1学期の振り返り	・生徒の実態に合わせて、タブレットを使うときの約束を決める。 ・動画教材などを活用して約束の確認をする。 ・生徒の実態に合わせて、活用できそうなアプリをインストールして操作する。 ・カメラのアプリやメモのアプリを活用して、1学期の学習の振り返りを行う。
2学期	15	(知及技) ・コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作方法を知ることができる。 (思判表力) ・コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者へ伝えることができる。 (学・人) ・将来の生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) ・コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表) ・コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者へ伝えようとしている。 (主学) ・将来の生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を身に付けようとしている。	・アプリの活用 ・2学期の振り返り	・動画教材などを活用して約束の確認をする。 ・生徒の実態に合わせて、活用できそうなアプリをインストールして操作する。 ・カメラのアプリやメモのアプリを活用して、1学期の学習の振り返りを行う。
3学期	8	(知及技) ・コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作方法を知ることができる。 (思判表力) ・コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者へ伝えることができる。 (学・人) ・将来の生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) ・コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表) ・コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者へ伝えようとしている。 (主学) ・将来の生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を身に付けようとしている。	・アプリの活用 ・1年間の振り返り	・動画教材などを活用して約束の確認をする。 ・生徒の実態に合わせて、活用できそうなアプリをインストールして操作する。 ・カメラのアプリやメモのアプリを活用して、1学期の学習の振り返りを行う。

令和8年度 道徳科 II 課程B 年間指導計画

配当時数	生徒	担当者
35	1 学年 2 名	

年間目標		・人との関わりの中で、道徳的な価値に気づいたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 ・身近な人々と協力して、互いの理解を深め、協力し合う心を育てる。 ・個性を生かし 社会の形成に参画する意欲や態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。 ・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。	・時と場合に応じた挨拶がどのような挨拶か考えている。	・新学期を迎えて	・時と場に応じた適切な挨拶や言葉遣い、態度について学習する。 ・学級内での個々の役割を決める。
	2	・自分の意見・考えを発表し、他人の話を聞くことができる。	・学級内で協力するにあたって、自分の意見を持ち、発表しようとしたり、他人の話に耳を傾けたりしている。	・大切な仲間	・学級で協力し合う事柄について話し合う。
	2	・仲間を大切にし、学ぶ姿勢を身につける。 ・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。	・仲間を大切にする姿勢を身につけようとしている。 ・学級での自分の役割を把握し、それらに主体的に取り組もうとしている。	・自己の役割と他者との協力	・計画を立てて行動する習慣について話し合う。
	2	・日頃の生活を通して家族への感謝の心をもつ。	・日頃の生活を振り返って、家族への感謝の気持ちを言葉にしている。	・思いやりと感謝の心	・家族に対して思いやりと感謝の気持ちを持ち、カードなどで感謝のメッセージを書く。
	2	・時間の大切さを知り、時間の見通しをもって行動できる。	・時間の大切さについて考えている。	・時間の大切さ	・時間を効率的に使うことの大切さについて話し合う。
	1	・過去・現在から戦争の悲惨さを知り、平和を望む心をもつ。	・沖縄戦の学習に取り組み、戦争の悲惨さについて自分の考えを持っている。	・平和講話	・沖縄戦について学習する。
	1	・自分の夏休みの生活に関心をもつ。	・自分の夏休みの計画を考えている。	・夏休みを前に	・夏休みの過ごし方について、個々の計画を語る。

2 学 期	4	・お互いの個性を認めることを知る。 ・高齢者や目上の人たちへの尊敬の意をもつ。	・相手の長所を見つけお互いの個性を認めようとしている。	・人権とは何か	・相手の長所をみつけながら関わることを学習する。 ・新聞などの記事を読んで考える。
	4	・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。	・学級の一員として、自己の役割を果たすためにすべきことを知ろうとしている。	・自己の役割と他者との協力	・各自のやるべき事を意識し、自ら行動できる。
	4	・働くことの大切さを知る。	・身近な家族に働くことのインタビューをして、働くことの大切さを言葉にしている。	・勤労の喜びと感謝の心	・働く人々にインタビューし、働くことの大切さや難しさを知る。
	3	・健康な心と体について考え、リラックスできる時間をつくることの大切さを知る。	・健康な心と体について考え、リラックスできる時間を見つけようとしている。	・生命の尊さを知ろう	・高校生として必要な心と体の健康に関する知識。ストレス解消法などを知る。 ・バランスのとれた食生活について学習する。栄養などについて考える。
3 学 期	3	・自分と関わる周辺の人たちについて語る。	・自分とかかわる人々を通して、自分自身が社会でできることを考えている。	・自己を見つめて	・自ら積極的に社会参加するために、自分に関わる。周辺の人たちの働きを知る。
	3	・心のこもった対応の大切さを知り、誰に対しても心を込めて接する態度を養う。	・心のこもった対応の大切さを知り、積極的に挨拶をしようとしている。	・礼儀正しさについて	・あいさつや接客についての学習をする。
	2	・一年間を振り返って自己の成長を知る。	・一年間の自分の成長を言葉にしている。	・自己の成長	・4月の自分と今の自分を比較し、成長を感じる。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 総合的な探究の時間 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
35		1年2名			
年間目標		探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、教師の支援を受けながら目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、事故の生き方を考えることができるようにするために、資質・能力を育成する。 (知及技) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。 (思判表力) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域のよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気づく。 (学・人) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報をもとに考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことの根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 3学期	35	(知及技) ・地域や社会の人、もの、ことに関わる学習の過程において、自分の課題に気がつき、解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・地域や社会の人々の関わりから、教師の支援を受けながら、気になった事について自分に合った手段で情報を集め、まとめ・表現することができる。 (学・人) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさに気がつき、協力し、よりよい生活を実現しようとする態度を養う。	(知・技)・地域や社会の人、もの、ことに関わる学習の過程において、自分の課題に気がつき、解決に必要な知識及び技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・地域や社会の人々の関わりから、教師の支援を受けながら、気になった事について自分に合った手段で情報を集め、まとめ・表現しようとしている。 (主学) ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさに気がつき、行動し、新しい考え方を見つけ、よりよい生活を実現しようとする態度を養おうとしている。	①学級開き ②各学期の活動計画を確認する ③個人目標 ④校内実習事前・事後学習 ⑤文化祭 ⑥学級活動	・あいさつ、自己紹介などを行う。 ・個人目標を選び、掲示物作成を行う。 ・日程や活動内容を確認する。 ・文化祭の練習、準備など。 ・アルバム整理や一年を振り返り、思い出を発表する。

令和8年度 LHR II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒			担当者
35		1年2名			
年間目標		(知及技)(思判表力)学級の活動を通して与えられた役割に責任を持てるようにする。 (学・人)友達や教師と一緒に様々な行事に参加する中で、協働する力を身につける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	・新しい学級に慣れる。	【知識・技能】 ①あいさつができる。 ②教師や仲間の話を静かに聞ける。 ③教室等をきれいにできる。 【思考・判断・表現力】 ①各行事の内容を確認できる。 ②安全に気をつけて活動できる。 ③積極的に発表できる。	学級開き	・あいさつ、自己紹介などを行う。
	2	・個人目標、学級目標を決める。		個人・学級目標 学級係活動	・個人目標、学級目標を話し合って決め、掲示物作成を行う。
	2	・学級での自分の役割を確認する。		校内・校外探検	・学級での係活動を確認し、分担する。
	2	・校内外を散策し、環境把握する。		校内実習事前・事後学習	・各教室や学校の周辺などを確認する。
	4	・実習先や校内実習について確認する。		1学期を振り返って	・日程や活動内容を確認する。
	1	・1学期の振り返りを行う。			・実習のしおりを使って、実習の振り返りをする。 ・1学期を振り返りながら、楽しかった事等を発表する。
2学期	2	・見通しを持って2学期をスタートする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ①主体的に授業に参加できる。 ②仲間と協力して活動できる。	2学期の活動計画 文化祭	・2学期の行事確認をする。
	8	・文化祭に向けての準備、活動をする。		校外学習	・文化祭の練習、準備など。
	3	・校外学習に向けて。		2学期の振り返り	・校外学習に向けて事前学習を行う。
	2	・2学期の振り返りを行う。			・2学期を振り返る。
3学期	3	・見通しを持って3学期をスタートする。		3学期の活動計画 1年の振り返り 進級に向けて 清掃	・3学期の行事確認をする。
	3	・この1年間を振り返る。			・アルバム整理や一年を振り返り、思い出を発表する。
	2	・次年度の目標を立てる			・1年間を振り返り、進級後の抱負を発表する。
随時		・学級の清掃を行う。		・清掃	・掃除機や机拭き、モップなどを行う。